滿洲日報
夕刊
一月二十九日
發行所　大連市東公園町三十一番地　株式會社滿洲日報社

反政府の强豪呼應し 激しい質問戰を展開
けふの貴、衆兩院活況

【東京二十九日發電通】二十八日の豫算總會にて大口氏の財政缺陷指摘、山崎氏の豫算に對する協贊權無視論等は政府に對し重大なる矢傷を負はしたものとなし野黨側においてはこれに勢ひを得更に宇垣陸相に對し軍縮改革問題に對する質問を浴びせかけんとし又海軍補充計畫にては場馴れせぬ安保海相を矢面に立たしめその足元をすくはんとする秘策を立てゝをり豫算總會はますく注目さるゝに至つた、更に貴院にては兩三日休戰狀態に在つたが本日より池田長康男の首相代理問題、川村前臺灣總督の霧社事件等によつて活氣を呈すべく更に勝田主計氏が衆議院の質問と相策應して財政に關する質疑をなすこととといはれてをり久し振りに貴衆兩院轡を並べて議會は活氣を呈することゝなつて來た

國防問題に關して池田男鋭く突込む
貴族院本會議（二十九日）

【東京二十九日發電通】二十九日の貴族院本會議は愈々反政府系の驍足を迎へて本舞臺に入つた感がある、午前十時十五分開議諸般の報告ありたる後日程を變更し先づ第二、衛生組合法案（政府提出）第一讀會 第三、傳染病豫防法中改正法律案（同上）同上の二案を上程安達内相の説明ありて九名の委員附託、次で國務大臣の演説に對する質問に入り再質問ありさて森田福市氏（交友）登壇

森田氏 首相代理は常に假定の問題には答辯せぬといひながら私の質問に對してロンドン條約が成立しなかつたなら製艦競爭が起つて大變であると申されたがこれは矛盾である

と結んで降壇次いで池田長康男登壇

池田男 首相代理の法律上の關係を明かにして置かれば責任の歸着點が不明なる故それを明確にして置きたい先日の質問に對し首相代理は同一政府の事であるから責任は同じであると申された見解の根據は何處にあるか

と詰し

幣原首相代理 臨時代理が置かれる前も置かれた後も責任は同一性を持つてゐるものと信ずる即ち臨時代理を置かれてゐる間の事については濱口首相が同一責任に任ずるのである、これは自分一人の信念でなく閣僚の一致した見解である、而して私共が責任を回避するといふならこれ等の關係について法理上の見解を追窮せらるるも當然かも知れないが私共が責任を負ふといふのであるから强ひて同一内閣といふ事等について法理上の解釋を必要としないと思ふ

池田男長康男

池田男 私は責任を負ふ負はぬの問題を申してゐるのではない、これが將來前例となり如何なる惡結果を見るに至るやも測られぬので飽くまで法理上の解釋を明瞭にして置かなければ同一内閣といふ事を説明する方法はない、同一内閣と稱し得るするも法理上は同一内閣といふ事は出來ない寧ろ内閣官制第二條により幣原内閣なる事を認めねばならぬ又代理の存續期間が餘りに永きに亘る事は不都合であるこれは官制第八條の精神ではない、濱口首相は目下首相代理を置かれてゐる關係上責任はない譯である、然るに濱口首相は責任はないが首相といふ重大な矛盾を持ち往々重要國務に關與してゐるのではないか

幣原首相代理 濱口首相の缺席が永いから違法であるといふやうにいはれるが二ケ月が適法の範圍か三ケ月が範圍外といふやうな事は明瞭でない、首相が責任を有せぬ立場にゐながら國務に關與するといふやうな事はない

と答へ池田男前質問を繰返し次に海軍條約問題に移り

池田男 前日森田君の質問に對し幣原首相代理は條約が決裂に終つたら製艦競爭が起り非常な困難に直面しなければならなかつたであらうと申されたが製艦競爭が起る事位は十分豫想された處で今更これを以つて國民に對する釋明に利用するが如きは不都合である、幾度か製艦競爭を云々されこれが始まれば日本は直ぐにもブッ潰れるが如くいはるゝが今日の狀態から見て製艦競爭が始まつても決して後れは取らぬ甚だしい痛手を蒙る筈もない、條約の成立を以つて世界の平和が確立したとなす如き政府の態度は好ましくない會議によつて得た處を見ると遺憾の點が多い大型巡洋艦のみについて見るも昨年の海軍大演習から見て不足である事が立證されたではないか政府は成功とか、成立せねば國家がブッ潰れるとか宣傳をさるゝ事は奇怪至極な振舞である

と池田男滿場の拍手を浴びながら統帥權問題に移り

池田男 ロンドン條約成立までの經過には幾多奇怪な點がある始め海軍當局は軍事參議官の支持を得て三大原則を樹て政府はこれに贊成し盛んにこれを唱へた、然るに一旦この原則の貫徹難しと見るや軍部と相談なしに勝手に變更したために軍人部は憤慨した責任觀念强き軍部としては當然である、その結果所謂統帥權問題で軍部對政府の抗爭となつた、政府は兵力量の決定は軍令部長の同意を要せずとて押し通し遂に軍令部長をして辭任を餘儀なくせしめその後この問題で樞府の態度强硬となるや軍令部長の同意を要するといふ參議官の奉書の趣旨を肯定しこれを聲明して辛うじて案の通過となつたのである、斯く見來ると政府が如何に無定見であるかが明瞭である、我々はかゝる無定見な政府に國防のことをまかするのは不安に堪えぬ、政府は一九三五年以後において我國の重大危機に會することを忘れてはならない

と結ぶや拍手盛んに起る

池田男 我國を今日あらしめたのは武士道精神に基因するものが多い、海相は條約成立までの經過において軍部が果して所信を斷行せりとの責任觀を有するか更に海相に聞かん

一、三億七千萬圓の補充費のみで海軍の國防は絶對安全か
二、一九三五年の會議まで現狀で進むを可とするか
三、一九三六年における大巡對米比率如何、又海相はロンドン條約成立までの手續就中兵力量決定に關する政府の手續は軍事參議會の奉答に違背せぬと信ずるか

と迫り轉じて責任論に入り財部前海相、加藤前軍令部長、岡田大將、山梨前次官等の私的公的行動を擧げその多くは不謹愼なりと難じ國防經綸の缺陷を暴露し手落はないかと突込み

一、海相はこれ等の不謹愼なる行動を不問にするか
二、三大原則を破つたが國防は安全か、これを破つた責任を如何にするか
三、軍令部長は條約案に反對したが條約は成立した、これは兵力量決定の原則と矛盾する（と三項を擧げ）海相は内閣の一員であるが帝國海軍を代表し金甌無缺の國體を永遠に守る重責を負ふものなれば自分の責任を思つて答辯せられたい

これにて海相に對する質問を終へ正午休憩となる

議會スケッチ

（上）は控室における政友會東武氏（左）と内田信也氏（右）（中）は無產黨の鬪士淺原健三氏（下）は腹をこしらへる藤澤衆議院議長

鐵道豫算問題質疑
政友の若宮氏第一陣を承はる
衆議院豫算總會（廿九日）

【東京廿九日發電通】衆議院豫算總會は廿九日午前十時二十五分開會

若宮貞夫氏

若宮貞夫氏（政） 政府が切手、印紙の賣捌手數料を引下げるのは三等郵便局長に對する經費支給を間接に減額することになりその結果通信事務に支障を示しはせぬか

小泉遞相 手數料引下は物價低落によるもので經費支給減額にはならぬ

若宮氏 五年度鐵道收入實績はどの位ゐの減收見込みなるか

江木鐵相 約六千萬圓の減收見込みである

若宮氏 （頻々たる鐵道事故を難詰し）最近の頻々たる鐵道事故の原因は保線改良費の節約不相應なスピードアップ等に在りはせぬか

江木鐵相 物價下落のため個々の工事費は減つてゐるが保線費は減つてゐない、又スピードアップのためでもない

若宮氏更に親不知の列車顚覆事件の原因につき鐵相に確め計畫的犯行ならば何故犯人を速かに逮捕せぬかと法相、鐵相に迫り

若宮氏 改良費を五年度にて三千四百萬圓削減し更に六年度豫算にて三千萬圓を削減し昭和四年度に比し約半額となつてゐる、線路改良費の如き五年度二百五十萬圓、六年度五百萬圓を削つてゐるが鐵道の安全を期する點において鐵相の所見を求む

江木鐵相 改良費の主要目的は將來の輸送量の增大に應ずる施設に在る、改良費を減らしたのは不景氣のため輸送量の增大が見込まれぬためである

若宮氏 改良費に公債財源を求めた前例ありや

江木鐵相 前例は何時でもある、昭和二年小川鐵相時代一千六百萬圓が公債財源によつて賄はれてゐる

若宮氏 改良費は必ず益金にて賄ふことは多年鐵道省の方針で豫算面を見ても改良費を公債で賄つたことはない

この時三土忠造氏（政）これに關聯して發言を求め

三土氏 鐵道豫算は改良費に公債財源を振向けないため益金を過大に見積り豫算面では辻褄を合はせ後に公債財源にて補塡することがある、江木、若宮兩氏のいふことは決算と計畫の兩面でいづれも眞である

若宮氏 年々の豫算計畫にて當該年度の建設費と公債發行價格を比較し公債發行價格が多かつた前例ありや

これに對し政府委員にて調査の上回答することゝし午後零時十二分休憩となる

衆院委員會

【東京廿九日發電通】衆議院の地租法案外六件委員會は廿九日午前十時四十分開會政友側より參考資料の提出を求めた後、高橋熊次郎氏（政）より内務、大藏兩大臣の出席まで休憩の動議あり議事に入らず十一時休憩となる

日毎に元氣になる濱口首相
議場混亂の新聞記事に眉を顰む

【東京二十九日發電通】議會に出るか出られぬかと騷がれつゝ官邸に療養中の濱口首相はその後經過も益々良好である毎朝目を覺ますと眞先に新聞を取り寄せ貪るやうに議會の記事を讀む、チョイく議場の醜態振りが出るので二、三日前には中島秘書官を通じて自重するやうにと臨々與黨の面々を戒めた位だが、二十八日の朝刊には前日の議場の殴り合ひ騷ぎがアカく書いてあるのでスッカリ氣を腐らした模樣で「困つたもんだ」と眉を顰めたさうな、議會が濟むと幣原首相代理や江木鐵相が病床を訪ひ細かに情勢を報告すると共に首相の智慧を借りて歸る、眞鍋主治醫が午後一回宛往診に來ながら世間話をして行くのが日課の一つで少し來方が遲れると「眞鍋さんはまだか」と催促し鹽田博士と共に更生の恩人として鄭重な歡待を特に家人に嚴命してゐる、夏子夫人の風邪も癒つて首相官邸は一日毎に回春の喜びが深くなつて行く（寫眞は濱口首相）

政府の婦選案に無產婦人團反對
來月八日大會を開く

【東京二十九日發電通】政府が今議會に提出せんとする婦人公民權案に對し無產派婦人團體はこれに反對し徹底せる婦人參政權獲得を目標に來月八日午前協調會館に全國大衆黨系無產婦人同盟、社民黨系社會婦人同盟主催にて無產婦人大會を開き決議を行ひ代表者は議會に赴き幣原首相代理、安達内相と會見しこれを手交すると

政友會の演說會

【東京二十九日發電通】政友會では議會再開以來連日その成績大いに見るべきものありとしこの際問題たる首相代理問題、財政經濟、外交、失業不景氣問題等に關し一般國民に對しその論旨を報告し輿論の喚起を圖る必要ありとして來る三十一日正午から日比谷市政會館講堂において政談大演說會を開催することになつた、辯士左の如し

一、開會の辭　森幹事長
一、財政經濟　三土忠造
一、霧社事件　濱田國松
一、首相代理　山崎達之輔
一、失業　安藤正純
一、外交　松岡洋右
一、不景氣　太田正孝

瓦斯事業法 改正法案提出

【東京廿九日發電通】商工省は瓦斯事業法を改正すべく審議の結果二月二日午後二時から商相官邸に瓦斯事業委員會を招集商相よりの諮問答申を經て今議會に提出することゝなつた

與黨側は別個に救護法案を提出
政府實施の方針明白

【東京廿九日發電通】救護法實施の問題に關し民政黨側世木、[illegible]兩氏は廿九日午前十時院内大臣室にて安達内相と會見、本年度より實施につき黨の希望を述べて意見交換の結果 政府はこの財源捻出の目鼻も大體ついたので來る一日の臨時閣議に附議し至急決定したいとの意嚮が明かとなつたので世木氏はこれを諒とし幹部室に引揚げ協議の結果 政府が今年度からやることに決定した以上與黨としては別個にこれが實施に關する決議案を提出する必要はない といふに一致した

けふの衆議院 雲行險惡

【東京廿九日發電通】二十九日の衆議院本會議には政府提出案特別會計における營繕費に關する法律案外六件並に議員提出案十二件が上程されてゐるが、二十七日議場混亂の因になつた政友會藤井、深澤兩氏懲罰事犯議が本日に持越され而も藤澤議長は二十七日の土倉宗明氏が議長の退場命令に反抗拒絶したりとの理由にて開議劈頭土倉氏を懲罰委員會に附するの宣告をなすことになつて右に對し政友會は不當を鳴らして肉薄せんとし居り本日衆議院は開會劈頭から波瀾を豫想されてゐる、次いで政府提出案審議に入り機を見て藤井、深澤兩氏の懲罰事犯を緊急動議により審議することになつてゐるに對し野黨は極力阻止すべく防戰に努めんとしゐるなど形勢險惡の光を呈してゐる

勞働爭議法案 英下院で可決

【ロンドン廿八日發電通】本日イギリス下院は「政府の承認を條件として總罷業を適法と認める」勞働爭議改正法案を討議したが右は政府の危機に關する重要問題として緊張した討議が行はれたが二百七十七票對二百五十票で通過し政府黨の勝利に歸した

民政硫安委員會

【東京廿九日發電通】民政黨の硫安問題委員會は廿八日午後院内に開催俵商相以下當局の意向を徵したが與黨の農村關係議員は右硫安市價吊上は農村を犧牲にするものとして反對してゐるので委員會としては三十日午後二時より委員會を再開農林當局並に硫安當業者の意向を徵した上政府と協調して態度を決するはず

張作相氏が政府委員を辭任
兼任多忙を理由に

昨年十二月十八日國民政府委員に任命された張作相氏は廿八日正式に委員の辭表を提出した、その理由は現に東北軍民の各職を兼任してゐるため、將來南京に會議のある都度出席出來ないからといふにある＝寫眞は張作相氏＝【奉天電話】

鐵道省辦公處長 金井氏赴任

鐵道省より北平に派遣されてゐた駐支北平辦公處長金井清氏は今回上海に移轉する事となり去る廿二日北平を引揚げ奉天經由來連、星ケ浦ヤマトホテルに投宿中のところ廿九日午前出帆の奉天丸で上海へ向つた、埠頭には滿鐵側より十河理事、石川交涉部次長、伊澤貨物課長その他鐵道部關係の見送りがあり賑はつたが北平辦公處の移轉による赴滬で今後鐵道に關する諸問題は當然國民政府を相手になさるゝものであると、なほ金井氏は奉天において同地滯奉中の木村交涉部長にも面會今後の事に關し種々打合せた筈

莫德惠全權 あす南京へ出發

露支正式會議全權莫德惠氏は外交次長王家楨氏と同伴三十日北寧線で出發南京に赴く筈【奉天電話】

鐵道警護懇談會
來月下旬奉天で開く

滿鐵、軍部、關東廳三者合同の本年度における定例鐵道警護懇談會は二月二十日奉天において開催されることに決定したが本年の警護會は世界的の不況と未曾有の銀貨暴落とに祟られた地方農民の逼迫が滿洲匪賊にまでも影響して旅客列車襲擊を企つるに至つた事情にあるので相當重要視することゝなり同會議には滿鐵からは鐵道部長初め庶務課長、事故係主任その他が、軍部からは獨立守備隊司令官以下參謀その他がまた關東廳からは警務局長保安課長その他の關係巨頭が出席協議對策を講ずること

會長協議會

大連民政署では來る二月五日會長協議會を開催し左の事項を附議すると

一、昭和六年度棉作付面積に關する件
二、昭和六年度模範作圃及び棉作指定會に關する件

全支商運會議

國民政府鐵道部は三月一日南京に全國商運會議を開き運賃及び商品運輸に關する事項を協議する筈で既に東北各鐵道、各地商務會に代表委員の出席を命じた【奉天電話】

憲兵總司令

東北憲兵司令陳興亞氏は目下北平山西各地に赴き山西軍憲兵の改編を監督してゐるが將來東北を合せ北方各省の憲兵總司令に任命さるゝに内定してゐる【奉天電話】

辭令（東京廿九日發電通）

兼任關東廳事務官（七等）　副領事　石塚邦器

天氣豫報

卅日（北西の風）晴一時曇

各地溫度

各地	廿九日午前十一時	廿八日最低
大連	零下一・一	零下三・〇
旅順	〇・四	同一・八
營口	零下五・八	同六・九
奉天	同八・八	同一二・九
長春	同一四・七	同一五・八

漢碑斷拓

凡二
言黑●
且在封

右漢熹平石經論語校記ノ殘日篇之末凡二以上乃經文此下隔一行書校記末行且在封乃且在邦域之中矣之殘字今本封作邦陸氏釋文邦或作封孔注魯七百里之封邢疏魯之封城方七百里是正義本亦作封今作邦者後人追改也西充白氏藏石

大觀小觀

濱口さんでなくとも「困つたものだ」議會の混亂は。日比谷座などとは侮蔑するにも程がある、と怒つても事實は事實だ。

◇

ダグ君、梅蘭芳丈の招待で北平を訪問するといふ。鐵道には國境なしか。

◇

宮武君、月給三百圓で日本蓄音機に入社すると、世人これを運動選手のマネキン時代來といふ。學閥など云々するのは古い。

羊角叢談

歩行と身體
銀波樓主人

「どうもこのごろは運動不足で軀の調子が變だ」といふ言葉をわれわれは、われわれの仲間から屢く聞く全くサラリーマンといふ代物は大體運動なんていふことは出來ないやうに出來てゐるし また運動をやらうなんて氣を起す殊勝なものも所謂スポーツマンを除いてはタントないものだ しかし畑あつての芋だれであり軀あつての物だれである。運動の機會、運動の場所、運動の時間が與へられなければソウした機會、場所、時間を作つてでもサラリーマンに適した運動をしなければ新しい活社會の人として闘つてゆくわけには相成らぬことはいふまでもなく讀者は先刻ご承知のことである。

◇

それならサラリーマンの運動に何を選んだら一番か、このごろであればスケーチングの出來る人ならば鏡鑑上に跳躍するもよからう。然し誰もが「どうも滑れない」人であつても眞に自分の軀のためを思つて男氣一番、見得も外聞も忘れて尻餅搗きに出掛けるのも運動だと思ふならば大いにやるべしである。だが相憎こんな勇氣も持ち合せてならぬ御仁びようたんのサラリーマンは滿鐵の若い人々が毎朝の出勤、退社のときに勵行？してゐる徒歩を秘はどうもこのごろ身體の調子の變な人々に勸めたいと思ふものである

◇

「よく歩く子供は强い」といふ反對に「强くない子供は良く歩けない」といふ。蓋しこの言葉は子供に許り限られたことでない。大人も然り左樣であると思ふ。とにかく歩行ぐらゐ簡單な運動はなからう。しかも少しも費用はなくて效力百パーセントである。特殊の場所も要らなければ、服裝もその儘で結構、唯自分の足の向ふところに歩行を續けてゆけばそれでよいのである。

◇

大體滿洲の人、殊に大連の人は電車や馬車、人力、自動車バス等々……に濫乘の嫌ひがある。兎角交通機關の四通八達した都會人は世の中がスピード化した結果にも勿論よることであるが暇の可成りある人でもわづかな距離のところをつひ乘物に乘つて仕舞ふ。そして運動の機會を失つて了ふのである。大連市街の東端[illegible]から西端沙河口にまで歩いたところがほんの四里そこそこ何事やあらんである。われわれは「歩くのは莫迦らしい」といふ金錢上から割り出したであらうところの觀念をサラリと捨てゝ出來るだけ時間の許す範圍内で、何處にゆくにも歩行によりたいと思ふのである。

◇

機會を奪はれつゝある運動に、少しでもよいそれをするチャンスを捉へやう。そして尚ほ出來得るなら日曜日のやうな機會を利用してウンと散策でも試みて自然のうちに運動不足で調子の變な身體を鍛錬して明日の日の活動に備へたいと思ふものである。

茶壺

◇…楠原醫院の楠原ドクトル、明治三十九年から大連に開業、大連の歴史なら何でも知つてゐるといふのだ。

◇…この楠原ドクトル、多年の診療經驗とあつて曰く、よる夜中二時が三時でも患者から電話が懸かれば喜んで飛び出しますよ、併し私が一人行くには看護婦、ボーイ、車夫と四人は起される、それまではよいがいざ往診して患者の脈をとると餘り異狀もなささうだ。何日頃から氣分が惡いのですかと尋ねると、もう一週間ばかりになるといふ。

◇…一週間も前からの話なら、何も夜中の二時や三時に特に起さぬでも、あすになつてもと思ふが、そこが病人心理とでもいふものか、とにかく二十五年も大連で開業してゐるが、醫者も決して樂ではないと述懷

【寫眞は楠原晋治氏】

人事

關東州中學校敎諭　大橋貞一　兼任關東州公立高等女學校敎諭（七等）

▲鈴木二郎氏（滿鐵々道部次長）病氣のため二十九日朝大連醫院に入院
▲山崎元幹氏（滿鐵交涉部涉外課長）二十九日九時發にて赴奉一兩日中に歸連の豫定
▲衛藤利夫氏（奉天圖書館長）二十九日八時着列車にて來連ヤマトホテルへ
▲金井清氏（鐵道省書記官駐支辦公處長）辦公處の上海移轉により北平を引揚げ二十九日出帆奉天丸にて上海へ
▲平野博三氏（ツーリストビウロー大連主事）同上
▲久保田正三氏（同文書院教授）同上

今四月の新學期から 幼稚園に御入學
近く兩陛下の御内意を拜して

照宮樣

【東京二十九日發電通】第一皇女照宮成子内親王殿下には今年御七歳、いよく御學齢も近づかせられたので豫て内親王殿下の御習學御養育方針につき一木宮相、關屋次官、河井皇后大夫等愼重御考慮申上げてゐたところ、この程大體今春四月新學期の候から女子學習院幼稚園に御入學相成るやう天皇皇后兩陛下に奏請し、一年の御課程御終了のうへは更に同學習院初等科に御進み遊ばさるべく畏き邊の御内意を拜する事に内議が決定したと承る、御養育方針に就ては宮城に於て天皇皇后兩陛下の御膝下より御通學遊ばさるゝか、それとも人格高邁なる民間の大官に御預け遊ばさるゝかに就ては近く尙御協議申上ぐるとの事である【御寫眞は照宮さま】

ベンゾリン大密輸事件 公判けふ開廷さる
ズラリ並んだ白川外被告十名

國際的の大密輸事件として世人から注目されてゐた、白川友一外十名にかゝる麻醉劑取締規則違反ならびに贈收賄事件の公開は二十九日午前十時、大連地方法院で森本裁判長、長島、小田兩判官係り、岡檢察官干與、大田黑英記、秋山高三郎、中村皎久、高柳泰壽(以上內地)小野、齋藤、大內、湯淺、立川、高橋(猶)五泉、相川、河內山、杉野、長(以上大連)諸辯護人列席の下に開廷された本事件は法律上、有罪か、無罪かの質疑が生じてゐるだけに興味に輪をかけて、早朝から傍聽者殺到して法廷外に溢れ、蒸し暑さが廷內に充滿する、定刻十一名の被告、ズラリと被告席につき、いよく公判開廷が宣せられる…………

傍聽者法廷外に溢る

藥品名問題で 先づ質疑應答
十一時半休憩に入る
岡檢察官の起訴理由

裁判長は被告を呼出し次の如く氏名、住所、位、勳等を型の如く質す

藥劑師 小松茂(四二)
三大製藥代表社員 谷拾吉(四三)
精米業 鎌野擧三平(四三)
賣藥商 川上虎男(四三)
元五品理事 河村統治(四三)
藥種商 松內龜太郎(五七)
前關信專務 田邊三槌(六〇)
前海務局員 米澤萬次郎(四一)
藥劑師 鈴木英二(四三)
元代議士 白川友一(五九)
元奉天署長 川合又一(三六)

この時裁判長は被告田邊に五品事件と併合し本件を分離する旨を告げ退廷を命ず、次いで岡檢察官は起訴理由を左の如く述べ公判請求をなす

第一 被告小松、谷、鎌野、鈴木は共謀して昭和二年九月二十五日モルヒネ、コカインが禁制品となる法規の發布を見越しあだかも輸送途上にあるが如く各官廳方面を誤信せしめ、昭和三年三月以降五回に亘つてドイツからペンゾール千九百十五グラム價額六十三萬餘圓を密輸

第二 川上、河村、白川は前記同手段で昭和三年六月以降十回に亘りペンゾール二千四百キログラム、ヘロイン六百キログラム、價額九十九萬餘圓をドイツから密輸

第三 松內、田邊、米澤は前記同樣手段で昭和三年十月以降六回に亘りペンゾール千八百五十キログラム、價額六十萬圓をドイツから密輸

第四 被告白川は本事件に關し種々手數を煩したといふ謝禮の意味で當時關東廳衞生課長たりし被告川合又一にプラチナ時計(價格二百八十八圓を贈賄)川合はこれを收賄し更に關東廳黑井技師及び近森技手に小切手二百圓を贈賄して突き戻された

押かけた傍聽人 (下)は辯護士室で茶を飲む白川氏

有罪、無罪も 藥品名が分岐點
午後の公判注目さる

この時裁判長審理に入らんとするや大田黑辯護人發言を求め檢察官の起訴理由によれば單にペンゾイリン、ヘロインといつてゐるがこれは藥品名でなく商品名である、卽ち昭和二年九月二十八日附關東廳が發布した本品の禁止命令條項中には「誘導體ペンゾイリン及びヘロイン又は誘導體の鹽類」とある、而して同年十月六日附の廳令で正誤訂正して「鹽酸ペンゾールモルヒネ及び鹽酸ヂヤシチールモルヒネの含有物」とあるが檢察官は兩者のうち何れの藥品名を採られるや

と根本問題たる急所に觸れて第一質問を發すれば岡檢察官は

現在押收中の藥品も誘導體の鹽類と認めた藥品も旣に消費し

た と答へ更に秋山辯護士との間に藥品名に就いて質疑應答あつた結果本問題は裁判進行上重大なる關係あるもので、休憩後確答するに決定し十一時半休憩、午後一時から續行

別項の如く大田黑辯護士が放つた質問は本事件を有罪か、無罪かに導く分岐點と見られ非常な注目を惹くに至つた、卽ち辯護士側の見解は被告等が輸入した藥品は關東廳が昭和二年十月六日附廳令で正誤訂正した「鹽酸ペンゾールモルヒネ及び鹽酸ヂヤミチールモルヒネ」であつて、檢察官がいふが如き「誘導體ペンゾイリン及びヘロイン」であれば廳令正誤前の藥品で當然麻醉劑取締規則から除外さるべきものとなる譯で、午後に於て檢察官が如何なる藥品と見做すかは裁判の結果を左右する重大なる分岐點と見られ注目の焦點となつてゐる

運動選手引張り凧
宮武は日蓄入 三百圓の高祿

【東京二十九日發電通】現下の就職難時代に運動選手許りは引張り凧の有 であるが、今春卒業の慶應の宮武選手は旣に各方面から入社勸告も相當あつたところ此の程日本蓄音機に教育部員として入社するに決定、然も月給三百圓といふ高給を以て抱へらるゝ事になつた、從來映畫關係又は宣傳部を有する會社の花形選手引張り運動は猛烈を極めてゐたが颯々選手マネキン時代を現出した、その他保險會社では選手知己が多く保險勸誘に最適の條件を備へてゐるので此の方面でも引張凧の有樣である

判檢事以下約一千名を 司法部が大整理
永年の傳統を破り三月末までに

【東京廿九日發電通】司法部は他の行政官廳と違つて判檢事は終身官として理由なく退職を命ぜられることなく至極平穩であつたが、今回司法部は永年の傳統を破つて三月末日までに判事二十名、檢事十名の整理を行ふに決したほか裁判所書記、雇等合せて約六百名、刑務所職員約三百名累計約一千名の大整理を行ふことになつた、この人員整理は渡邊法相、小原次官等非常に頭を惱ましてゐた問題で小原次官は七年度には復活させるとカんでゐるが、司法部員が千名近く一度に整理されるといふことは實に空前のことである

上海の船舶檢疫
沿岸貿易船だけ免除

本年一月一日より南京政府が改正した船舶檢疫法により上海入港各船舶に檢疫官を派し檢疫事務をとる事になり今日まで當大連航路船も檢疫を受けてゐたが、經費の都合によるか又は係員の手不足によるか或ひは事務の繁雜に業を煮やしてか特に沿岸貿易船舶に對してはこれを免除する事になり去る廿三日發令しこれを各船會社に通告した、廿九日入港大連丸船員の語るところによると

廿三日決定、廿四日各船會社に通告したらしいです、大連航路の船は沿岸航路だからその必要がないといふのですが考へ樣によつては僅か一ケ月にもならないのにこの始末じや心細いですよ

旅順ホテルの强盜 奉天で捕はる
今曉、長崎旅館に止宿潜伏中
巧に變裝警戒線突破

去る廿三日夜半、旅順青葉町旅順ホテルこと中尾判太郎方に旅客に化け込んで止宿し同家若夫婦を模擬拳銃で脅迫して現金三圓餘を强奪逃走した犯人については所轄旅順署はもちろん、刑事課、大連署及び沿線警察でもこの大膽不敵な居直り强盜の搜査に努めてゐたが犯人は犯行を爲した日の拂曉、旅順忠海町、檢興タクシーを叩き起し

旅大道路 を長驅大連に逃走、途中鹽廠市外二ケ所の非常警戒線に引つ掛つたが、巧な變裝によつて警官の眼を晦まし大連に潜入したと判明、當時現場に急派された刑事課田口鑑識係長以下鑑識係及び旅順署員の協力に依り犯人が現場に遺留した鑑識資料により、ほゞ犯人の目星つき、大連署では直に司法刑事を驅げて犯人の立ち廻り先を搜査の結果、犯人は廿六日夜大連逢阪朝鮮妓館大連館に止宿したことを付き止めたがその時犯人は旣に大連署の嚴重な搜査に感づいて逸早く沿線に逃走したこと判明したので、大連署吉富警部補は廿七日夜行で犯人の立ち廻り先と覺しき四平街

奉天方面 に急行、沿線各署に手配し、兩三日徹宵警戒の結果、廿九日午前一時廿五分、奉天市內長崎旅館に止宿中の犯人小永吉直重(二三)を逮捕、訊問の結果、前記旅順ホテルにおける犯行の全部を自白した、吉富警部補は廿九日廿時大連着列車で犯人押送歸連する筈である、犯人は鹿兒島縣始良郡嘉玖町字住列川生れで、奉天の義兄を賴つて渡滿し、本月十六日來連、兒玉町滿鐵從事員宿泊所に寄食してゐたもので、變裝に巧妙な點、玩具拳銃を所持せる點、しばく僞名を用ひる點より見て前科を有するものと推定されてゐる、なほ

當時兇行 に使用した拳銃は、旅順より逃走の際、犯人を乘せた前記檢興タクシー自動車旅一八三號が市內伏見臺滿鐵中央試驗所附近にて犯人を下した後旅順より追跡して來連した搜查隊に發見され車內檢査を行つた結果腰掛け下に隱匿されて居つたもので、ニッケル製の元折式の玩具である

逮捕された小永吉直重

母娘三人が謀り 前借金踏倒し
抱主、大連署に願出づ

母娘三人ぐるになつて前借金詐欺を働く太い女――當時大連信濃町八二番地居住の川村トヨシ(四三)娘子みゑ(二〇)同花子(一七)の兩名は、舊臘廿二日母親に連れられて姉のみゑは市內逢坂町料理店吾妻樓こと吉村勉方へ前借千三百圓、妹の花子は翌廿三日同地第五豐榮樓に千四百圓にて五ケ年契約のもとにそれぞく藝妓として抱へられたが兩名は住込むと同時に病氣と稱して稼業をなさず、花子は去る五日病氣靜養に名をかり母親の許に歸り、更に姉のみゑも廿四日突然無斷外出したまゝ歸樓しないので前記兩名の抱へ主は實家である市內信濃町について調べたところ、旣に同家は藻拔けの殼となり一家擧つて逃走行方不明となつて居り、最初より親子三名がぐるとなつて前借金騙取の目的で住込み詐欺を働いたものであることが判明、樓主兩名は廿八日大連署へ詐欺犯人として取押へ方を願出でた

朝鮮革明軍の 三首領逮捕
長春潜入を待ち構へて格鬪 長春署近頃の大捕物

二十八日午後六時半ごろ范家屯派出所から長春署あて第二百二十一列車に怪鮮人三名乘込める旨手配あり井上高等主任は百四十五名の署員を臨へ同七時着の同列車を警戒、驛前の派出所前を馬車にて逃走せんとするを格鬪のうへ逮捕・取調べたところ最初は僞名し容易に實を吐かなかつたが、廿九日朝に至り朴雲晰、李鐘洛、金光熙であることが判明、彼等は何れも朝鮮革明軍の首領で昭和三年來奉天以北で中暴を逞しうし李の如きは全滿に於ける頭領である、長春署未曾有の大捕物として署內は歡喜に滿ちてゐる、武波署長は語る

李は當署で中尾署長時代から逮捕に苦心を重ね、前の石井署長からわざく引繼ぎをうけたものである、彼等が逮捕されゝば滿洲における不逞鮮人の今後の策動は大打擊をうける、兇器を所持してゐなかつたのは彼等の運のつきで眞に天佑だ

山東馬賊の頭目
懸想した女を無理に連れ出し 大連に上陸お繩頂戴

廿八日午前十一時五十分、折柄青島より入港の第廿一共同丸乘客に交り東正門より出門せんとする擧動不審の支那人を認めた水上署傳巡捕は有無を云はさず本署に同行取調べたところ、懷中より現大洋百一枚、大洋五圓紙幣廿五枚、その他計三百三圓が現はれたので、テッキリ怪しいと尙も訊問を進めたところ、同人は山東省沂州府莒縣生れ市內西崗子同樂藥房に居る嚴福照(四五)といふもので初めての來連である旨を申立てたが、同行の山東省日照縣居住辛作池妻辛秦氏(四〇)並に同人長女根兒(一九)を引合に出し嚴重取調たところ、辛秦氏の口より驚くべき事が自白された、卽ち嚴は約數十名の部下を有する山東馬賊の頭目で沂州府一帶に相當名を賣つた男でかれてより懸想してゐた辛秦氏の長女根兒に目をつけおどしあげたうへ憔を通じ大連に强制的に連れ出して來たもので當地に潜入何事か惡事を計畫せんとしてゐたものである、水上署では意外の獲物に共犯者の有無につき調査中だが今のところ自白せぬ、尙嚴は山東省內で散々馬賊を働いた揚句關東州內に逃げて來るのが一番安全な方法で例へ日本の官憲に逮捕されても命に別狀ないとたかを括つてゐた

實用習字講習會 ペン字科、毛筆科、女子科、小學生科若干名宛募集、二月三日開始委細は事務所に照合の事 基督敎青年會敎育部

彦島沖で 汽船衝突
烏帽丸危險

【門司二十九日發電通】昨夜七時下關市外彦島田の首沖合にて大連から橫濱に向け航行中の內外商事貨物船烏帽子丸(三九五四噸)と神戶から三池に向ふ東洋汽船の貨物船北洋丸(五四六〇噸)が衝突し、北洋丸は船首に二間餘の吃水線下の裂傷を負ひ船艙に浸水し危ふく沈沒せんとせしも空船のため助かり、烏帽子丸も右舷二、三番船艙に裂傷を受け浸水甚だしく海岸に自力坐礁し辛うじて沈沒を免れたが、傾斜甚だしく米粕滿載のため滿潮時潮流の變化に伴ひ沈沒の虞あり目下極力救助作業中、乘組員は皆無事である

日米對抗 水上競技

【東京廿九日發電通】日本水上競技聯盟では今夏八月布哇の全米水上選手權大會にアメリカ一流選手が來布するの機に日米對抗競技を開くべく交涉中のところ、去る廿五日應諾の旨回答があり併せてハワイの全米大會に日本の牧野、鶴田、片山、入江諸選手及びリレーメムバー招聘の申込みがあつたので二十八日夜末弘聯盟會長以下協議の結果、日米對抗水上大會の期間を八月二十八、二十九、三十の三日間とし日米選手十二名づゝを以て爭覇するに決し、その旨回答すると共にマヂソン孃外一名の女子一流選手の招聘を申込み、また日本選手招待に對しては中等學校大會、選手權大會等の關係から出場不可能の旨回答した、なほ日米對抗日本選手決定は八月十五、六兩日の全日本選手權大會を豫選會に兼ねて行ひ、これに備ふるため東京にて全國一流選手を集めて練習會を開く事になつた

持て餘す無鑑札自轉車乘用

大連沙河口の鐵道工場に從業する支那人で鑛家屯、沙溝方面より通勤する者で最近自轉車を使用する者が非常に多くなりその數も六、七十臺に及んで居るが、これ等自轉車は殆ど無鑑札で彼等從業員は朝は早くより夜は遲くまで勤務するためその取締りに持て餘した民政署では、近く沙河口署と連絡を取つて何等かの方法をもつて一齊に取締に着手する筈である

華人藥商組合員に警告

最近小崗子管內にある漢藥商人のうちに自宅で調製したいかゞはしい漢藥を密賣する者が多くなり小崗子署では屢々發見次第處分して來たが、更に改むる樣子もないので同署では廿九日午前中華商藥商組合役員を本署に招集し嚴重警告を發した

森永ベルベット菓子

東京森永製菓會社で新發賣の乳菓「森永ベルベット」はその主要原料がコンデンスミルクで、美味で滋養に富み極めて衞生的なため驚的好評を受けてゐる、今度その自動製菓機が大連に到着して當地方の需用は充分間に合ふ樣になつた、該製菓機は原料から菓子となり、最後の包裝まで全部人手を用ひず自動的に製造出來るもので衞生上からも極めて適切であると

支部長

Elinor Glyn
"It and other stories"
上掲の創作集御所持の方。お讓り願へませんか。向ふ二ケ月ばかり拜借でも結構です。三ケ月後に新本を御返却致す事もできます。御所持の方甚だ勝手ですが下記へ御ハガキでもいただきたいと存じます
滿洲日報社長春支局内 吉田生

荆妻布美子儀病氣中の處藥石無効一月廿九日午前五時二十五分死去致し候間此段辱知諸彥に謹告仕候
追而葬儀は一月三十日午後二時聖德街齋場に於て執行可仕候
一月三十日
夫 大倉喜滿太
親戚友人一同

俠艶一代男 (175)

米田華紅作　伊藤幾久藏畫

雪の夜語り(十五)

「いえ、お前は吃度兄さんでござんす」

一葉は、瞳を輝かして、典膳へ膝ずりに膝を寄せた。

「お前の面差が、どこやらにお千賀さんに似てゐるのも爭はれない。どうか隱さないで、打ちあけて下さい。私アお前が血を分けた兄さんでも、何で怨みに思ひましやう！父の道玄さたつた二人切りと思つてゐた世間に、お千賀さんのやうな立派な妹もあるのが判つた。お前が江戸で評判な大惡人、火の玉小僧典膳でも、私の本當の兄さんとすれば、私ア嬉しうござんす。兄と妹が何も知らずに死んで行くより、晴れて名乘り合へたなら、どんなに嬉しいか、知れませぬ。どうか本當のことを明して下さいまし」

寄りすがり、聲を絞つて典膳に賴んだ。

「……俺ア、そ、そんな者ぢやれえよ」

頑固に意地を通さうとするか？後の嘆きを見せまいためか。頻りに打ち消してゐたが、態度はそれと反對に、悲しい胸うちを滲ませて、見る眼も哀れな位に肯定してゐた。

「兄さん。お前、まだ打ち明けては下さんせぬかえ？」

「……」

一葉が怨みまじりに詰め寄つた。

蒼白い典膳の頰から涙に曇る瞳がじツと一葉を見据ゑてゐる。

「ねえ、兄さん……お前、お前は……？」

「か、勘忍してくれ！」

典膳は耐りかねたか。妹ひさの前に兩手をつくと、滂沱と流れる涙の聲で

「俺アロを、割られても、お前たち二人の妹へは、この世で、兄と名乘り合つて行くめえと覺悟をしてゐたが、俺アお前の優しい言葉に、性も根も無くなつた。大惡人だつて、骨肉を分けた兄妹の情に變りがあらうか、俺ア年取つた父さんや、お前や、千賀にどんなに逢ひたかつたか知れねえ。雨につけ、風につけ、世間で見る同じ年頃の娘から、お前たちの事を思ひ出してゐた。さんざんに迷惑をかけたヤクザな兄貴だが、俺アこの世の名殘、吃度お前や千賀の幸福にして行つてやるから、切めてこれだけを思ひ出し、今までのことは許してくれ」

典膳は流れる涙を拭はうともしなかつた。

「では……ではやつぱり私の推量通り、あの、お前は兄さんでござんしたか？」

一葉の細い聲が、四邊をはゞかるやうに顫え、ジッと涙の眼を据ゑて居つた。

「何もかも、今となつちや、お前たちに百萬遍の詫を繰返したつて後の祭だ。だがなアひさ！お前、廓の裏門から龍泉寺へ行く片側町萬年屋と云ふ木賃宿の路次裏、おでんの夜商人芳五郎と云ふ爺さんを訪れ、逢つてやつてお呉んなせえ。お前の姿を陰ながら見るのを樂しみに、老先のれえ身を淋しく生きてゐるんだ。道玄のやうな惡性なら幾ら血を分けた肉身だからと賴まれたとて、俺アこんな無理は云はれえ、意氣地のれえ老爺が昔の罪に泣いてる姿がいぢらしくてなんれえんだ。どうか逢つてやつて下せえよ」

「ええ、お話はよく判りました」

一葉は眼を閉ぢると、襟を襟へ深く思ひに沈んだ。

「では逢つてくんなさるか？」

「あい……！」と、物淋しい返辭だ。

「さうか。それで俺も安心した。有難え。その代り、お前を苦め抜いたあの道玄……。冥途い路連れにしてやるまでだ。毒を喰へば皿まで。冥途い路連れにしてやるから安心しなせえ」

「えツ、お父さんを……？」

「まア、いいッて事よ。心配しなさんな」

「いえ、いえ、それはなりません。どのやうであらうと、私がこれ迄に育てられた大切なお父さんです。どうぞそんな、そんな大それた事はなさらないで下さい」

「お前が心配の根を斷つてやるんだぜ」

「譬ひどんな心配苦勞をかけられやうと、今が今までたつた一人の親と思つて居りましたのに！兄さん、お前がそんなことをすると、私ア死ぬまで怨みますよ」

キネマと演藝

長唄紫竹會

廿八日夜ヤマトホテルに望月久三郎師補導で第十四回をひらく。どうしたことか案外に客足が薄かつたのは殘念。遲れて「軒端の松」から聽く。音千代に代つて久三郎師匠の太鼓が若手の出演者をよく統制して光つた「松の緑」は聽きどころとして「多摩川」は音丸音千代の唄にお葉小文の三味線、下方は久三郎師匠の小鼓が入つて三千代の小鼓、樂次の大鼓、八千代子の太鼓、畑違ひの音千代の唄は苦しそうで音丸の立唄は無難、お葉の立三味線は構踏開きさも氣になるし、今一息。困つたのは八千代子の太鼓が氣分を掻き廻し、前夜のラヂオ放送の方が全體に出來榮がよかつたとのこと

「鳥羽繪」は會主六紫師匠の演し物で當夜の聽きもの、三味線は音千代にお國のト調子、六紫師匠は調子をやられてゐるらしく最後で油が乘らずに終る、お國のト調子は頻りにツボを外したのはどうしたことか

當夜の呼び物「うつぼ猿」は六紫師匠の立唄にお鯉、喜多八、三味線は音千代、お葉、小文、下方は久三郎師匠の太鼓に音丸の大鼓、三千代と八千代子の小鼓でベストメンバー。惜しいことに全體の出來にムラが眼立ち、殊に喜多八の唄が氣になり、六紫師匠も遂ひに陷つた態、鳴物は途中ですつかり芽を出さず出演者一同スランプに調子を揃へた時に音丸の大鼓がさてもいゝ氣持に聽かれた

た大日活は廿九日一日だけ日延べをする、その後は常盤座の獨り舞臺▲この混戰のなかにあつて浪速館の「八荒流騎隊」は盛況をつゞけ▲明日から興國篇を上映して興國篇にしようと馬力をかける▲今度來る虎丸は儲物でなからうと念を押す人がある▲一つ來滿する前に内地からラジオで挨拶したらどんなものか

全篇息詰まる 興國篇封切
三十日から浪速館で
本紙讀者は半額割引優待

本紙連載中の映畫物語東亞キネマ時代劇超特作品「八荒流騎隊」は愈々佳境に入り連日好評を博してゐる、一方映畫も亦、本社販賣部後援の下に去る廿四日より浪速館にて臥龍篇を上映し本紙讀者を半額優待し盛況をつゞけてゐるが、臥龍篇は愈々今廿九日限りで明三十日より更に興國篇を續映する、映畫興國篇は臥龍篇の最後より物凄くかけられて來たスピートが益々物凄く、ファーストシーンの新選組の亂鬪より最後の七卿落ちに至るまで、一貫してこのスピードが全篇を引きしめて行く。監督後藤岱山の手腕には敬服する何ものかゞある。更に興國篇に至つては正史上の人物が多數現れて、それそれ非常に活躍する、がそこに何等の煩雜も退屈も感じさせられない。脚色と監督、其のヨサが充分感じられる。主演者の羅門光三郎の演技は益々冴えて來て、一層變つた氣持ちのよい、垢ぬけのした殺陣ぶりを見せてゐる。殊に原駒子の加壽美は女志士らしい意氣が見えてうれしい。七卿を奉じて種々觀難を續ける桂小五郎に扮する青柳龍太郎は新進ながら、腕妻ぶりのしぶい處が受けるだらう。又歌川絹枝の彌生、小坂照子の小菊共に適役、可憐である。朝議は一變した、志士は七卿を奉じて長州へ。激怒した戸波總四郎の双は所司代酒井若狹守を遂に斬つた。新選組何者ぞ、さふろひ立つ八荒流騎隊、觀客は完全にこの映畫に醉ふ事が出來やう。尚本紙讀者は臥龍篇同樣優待券を持參すれば階上階下とも半額割引である

日活の社史と現勢

(日本映畫人協會長男爵藤村義朗閣下序加茂令堂著)本書は此種刊行物としては實に本邦最初の珍著で、斯界の草創時代より筆を起し日活の現勢に至る迄と、日活人(重役、幹部、監督、技師、俳優)の閱歷生活等を論評せる外、映畫の作り方、作品總攬、千恵藏の告白談など各般に亘りて本格的に評述したもので、書中今まで公表されなかつた秘話、珍談、貴重資料が滿載され、寫眞亦百餘を挿入さる等斯業者は勿論研究家ファン投資人の必讀すべき寶典である(四六判二六〇頁定價七十錢税六錢東京市麴町區三番町七〇橋ト莊同刊行會發行、京都東九條山王町弘文社大賣捌)

噂話

ゆふべの紫竹會、六紫師匠は勿論、お鯉、喜多八音千代お葉小文音丸と▲赤い手柄の丸髷が揃つて實に壯觀を呈したが、節分にしては氣が早すぎる▲節分と言へばその次は初午祭、今年は趣向を變へて緣起のいゝ神籤を出さうと村岡樂童氏が名案考慮中▲いよく「グレイト・ガツポ」は好調をつゞけ大日活常盤座ともに大入滿員▲氣をよくし

映畫八荒流騎隊 讀者半額優待券

浪速館階上四十錢階下卅錢

後援 滿洲日報販賣部

映畫八荒流騎隊 讀者半額優待券

浪速館階上四十錢階下卅錢

後援 滿洲日報販賣部

第廿八回 滿日勝繼碁戰(中山氏二回 勝二回目)

先 中山恕世氏　相先 湯淺唯二氏

黒	白	黒	白
一四一ソ十一	一四二タ十四	一四三レ十四	一四四ワ三
一四五ワ二	一四六カ二	一四七チ五	一四八チ六
一四九ル九	一五〇チ三	一五一チ二	一五二リ三
一五三ヌ八	一五四リ八	一五五ハ十一	一五六ロ十一
一五七ヨ十八	一五八カ十七	一五九タ十八	一六〇カ十四

—【8】—

けふの放送

大連 JQAK

一月廿九日午後六時

▲ニュース
▲支那語講座「初等科第二十五課」滿鐵學務課秩父固太郎
▲謠曲「弱法師」梅若流高瀨富十郎
▲箏曲(大阪より)二「三ツの景色」以下內地中繼(六時五十七分)菊原琴治、同初子、二「御山獅子」三絃同琴治、箏同初子
▲放送舞臺劇「壺坂靈驗記」場景、座頭澤市の住居、壺坂觀音堂前其の谷底 壺坂觀音(坂東又太郎)座頭澤市(中村緇造)妻お里(坂東秀調)竹本連中(竹本琴路太夫)三味線(野澤琴糸)長唄囃子(杵屋榮藏社中)以下大連放送局より
▲ラヂオ體操
▲職業紹介事項
▲料理献立
▲天氣豫報

箏曲

三つの景色　歌詞

菊原琴治　同初子　三絃 同琴治　箏 同初子

朝よさを。たが松島ぞ片心、涙のつゞみも新らしき。年を重ねる日の始め。かゞやきうつる磯清水。今もつきせじ語り草。燕村翁の筆おさみ。其石ぶみも橘立や、松の月日のこぼれだれ。惠みも深き笠の松。くゞる鳥居や浮櫻の。かげさへ廣き千疊敷ひつじさがりの時さへも。色うつくしき紅葉谷。山さへ高くいやまして。うらや七うら、なゝゑびす。こぎ行く船ぞ面白き

御山獅子

神路山むかしにかはらぬ。杉の枝、かやの御屋根にごしきの玉も。ひかりを照す朝日山、淸き流の五十鈴川。御裳濯川のほしあみ、宇治のさゝぞと見渡せばころは彌生の賑はしき、門に笹たて鈴の音、獅子の舞ぞとうたひつゝ、山を越したる小田の橋岩戸の山に神樂を奏し、二見の浦の朝景色、岩間によどむもしほぐさ、關寺の夕景色、のべの盃や美女のあそび、うかれてくむや盃の、はやは戸口に。紅葉の、そめてたのしむおい人の、淺間、山、ながめもまさる奥の院、晴れ渡りたる富士の白雪

遺傳ではない傳染する 癩病の話

福田秋水

東海道線で二等寢臺の乘客の中に首から上を白い布で包むだ客があるので車掌が不審を懷き取調べたところがらい病であつたので大いに狼狽し早速その乘客を下車させて收容すると同時に列車の大消毒を行つた事件はまだ耳新しい話である。此の怖しい病氣は赤痢やコレラと同じやうに黴菌によつて發生する傳染病であつて今から五六十年前ハンゼン博士が發見されたのである。

困る事には此の病氣は病素菌が人の躰內に侵入しても直に發病せずして永い間、潛伏し其の間にたえず繁殖し竟には顏面筋が腐た梨の實の如くブヨブヨに崩れ鼻は落ち唇は触れて齒が脫き出ると云ふ生きながら化物のやうな醜怪極る姿に變てくる此の潛伏期の間は血液の檢査をしても完全に發見する事が頗る困難であるし而もらい病初期の兆候は氣候の變化に依て出たり消えたりするので病理に疎い人は治つたのかと思ふこともあり或は黴毒、レウマチ、神經痛や普通の皮膚病に極く似てゐるので治療を誤る人が多い。

特に「昔からこの病人の出なかつた家庭」に於て誤られ易く最近の統計にも所謂血統外の家庭から多くのらい患者が發生してゐる。

らい患者の血統を承ける者でも決して自然に發病するものではなく病人と同じ家屋に棲むだり亦は往來するうちに傳染するのである。

次にらい病初期の兆候を述べておくから若しも心當りのある人は私の處へ申込んで下さい治療書を社會奉仕の爲め匿名の小包で秘密に無代送呈す。

(福田秋水先生は東京下谷車坂九二ノ十一號です)

傳染初期の兆候

(A)眉毛が痒くなり搔くと白い粉が剝れ眉毛や髮や陰毛などがぬける。

(B)寒くなると手足の色が惡く凍傷の如き腫物が生じ溫くなると治る。

(C)鼻がつまつたり鼻孔に腫物が出來たり消えたりする。

(D)躰の一部に時々小虫の這ふ如き感覺あり亦は逆上て顏が腫れ上り而も油を塗つたやうな光澤がある。

(E)皮膚面には異狀なく小部分の知覺がなくなり針を刺しても痛みが鈍い。

(F)火傷の如き水泡が生じ後に破れて腫物となる。

(G)時々躰の一部分にチクチク痛を感ずる事がある

(H)田虫のやうなものが出來たりナマズの如き斑紋が生じ其の患部は知覺が鈍る事もあり亦は反對に物に觸れると烈しく痛む。

豆信手數料問題急轉し解決
銀價七十圓以下の際臨時手數料廿錢增額

田中前專務以來の懸案であった銀價暴落による大連取引所信託會社の手數料問題は特別委員を設け幾多の紆餘曲折を經たる後本月二十四日には支那側の特別委員會に於て次いで二十六日には日本人側特別委員會にて取引人組合側として最後の解決案を決定したるを以て愈二十七日正式に會社に折衝した、田村專務は即答を避け二十八日重役會の協議を經た上同夜承諾の回答を組合に與へたので、さしもに困難視された同問題も茲に急轉直下的に解決を見るに至った、即ち右解決案は銀價七十圓以下の場合に限り現行信託手數料の外臨時手數料として金二十錢を增額することゝ、右臨時手數料施行中は特別手數料を金三十錢に變更することなつたものである、取引人組合では明三十日委員會を開き右特別委員會の報告をなして承認を求め更に三十一日臨時總會を開き最後の解決を行ふ筈である、監督官廳の許可を經る迄多少の日子を要するにしても來月早々から實施さるゝものと觀られて居る、該手數料問題の經過については取引人組合より二十九日大體左の如く發表された

交渉經過

▲昭和五年十月二十九日第一回特別委員會　田村專務より詳細に亘り信託會社手數料收入の現狀を說明し大體の希望を述べ各自意見を交換す

▲昭和五年十一月五日第二回特別委員會　組合長より從來の經過を述べ各員の意見を徵し審議す、當時銀價五十七圓にて銀一圓三十五錢は金七十六錢九五なるを以て此際暫定的方法として銀價七十圓以下の場合に限り金十錢を臨時手數料として增額することゝし財界不況の際に付新に取引人の負擔を增さざる方針の下に右金十錢は特別手數料中より割き其期間は特別手數料を金四十錢とする事に決し正副組合長より非公式に信託會社と內交涉する事に決す

▲昭和五年十一月六日以後の經過　寺田、瓜谷正副組合長は十一月六日田村專務を訪問し非公式に昨日の決議に基き內交涉せるが同案にては同社の同意を得る見込なきを見て更に特別委員會に於て協議を重ぬる事とし一方信託會社に於ても特別委員の諒解を得るに努むる事とし組合長は上京より十二月下旬歸連特別委員を歷訪し問題の進行を圖れり然るに銀價は其後益々低落し一時四十五、六圓を上下するに至り從て信託手數料は益々低下せるも信託當事者は取引人の立場を考慮し又特別委員の誠意ある努力を諒とし八ケ間敷督促も爲さず隱忍せり、然るに手數料問題は銀價の下落に從ひ信託との交涉益々困難となり、且つ取引人の不利を招くを憂ひ又信託に對する情誼上本件を速に解決するの得策なるを思ひ組合長は取引人の大多數なる華商側の意見を纏むる爲め更に有志を歷訪し先づ華商側特別委員會を開く事とせり

▲昭和六年一月二十四日華商側特別委員會　組合長より第二回特別委員會以後の經過を報告し、且つ協議の進行を圖るため左の私案を提示す

先年組合と信託との手數料協定當時は金銀平價にして即ち銀價七十圓以下となれる際は金一圓三十五錢迄は手數料を引上ぐるも致方なき狀態なるに現在は銀價四十五圓とし手數料銀一圓三十五錢は金六十錢七五にして金一圓三十五錢に對し金七十四錢二五の差あり其差額を假に金七十五錢と見て之を三分し其三分の二即ち金五十錢を信託にて讓步せしめ取引人は三分の一即ち金二十五錢を負擔する事而して右暫定方法は銀價七十圓以下の場合に限るものにして其期間は特別手數料を金三十五錢とし別に取引人の負擔を增さざる事

右原案に付各商協議の上、左の通り決定す

右原案により增額手數料を最高金二十錢とし其期間は特別手數料を金三十錢とし銀價七十圓以上となれる場合は凡て現狀に復歸する事

右により組合長は日本人側特別委員の意見を徵し信託とも下交涉を遂げ別に異議なくば特別委員會の會合を省き組合委員會の報告の上承認を求め更に總會に諮る事に決す

▲昭和六年一月二十六日日本人側特別委員會、組合長より二十四日の華商側特別委員會の決議を報告し協議を重ねたるが日本人側も異議なく左の通り決定す

銀價七十圓以下の場合に限り現行信託手數料の外臨時手數料として金二十錢を增額すること

右臨時手數料施行中は特別手數料を金三十錢に變更する事とし銀價七十圓以上となれる場合は凡て現狀に復することゝ

右決議により日華特別委員の決議決定せるを以て正副組合長より信託會社に下交涉を遂げ同社の同意を得たる上は特別委員會の會合を省き直に組合委員會の承認を求め總會に諮る事に決す

▲昭和六年一月二十七日、寺田、瓜谷正副組合長は田村專務を信託會社に訪ひ右特別委員會の決議により交涉の結果略々同意を得たるも同社に於ては二十八日重役會議に諮りたる上正式に回答すべき事を約す

一月二十八日　田村專務より寺田組合長に對し同社は之を承諾せる旨正式に回答あり

上海に於ける州內漁船の活動
並びに注意諸事項

關東廳水產試驗所漁撈部試驗船は州內發動漁船の上海における活動振を調査し、その參考となるべき事項につき左の如く報告した

一、上海大連間に於ける安全なる最近コース

大連出帆山東高角燈臺を並航して揚子江口の花鳥山燈臺に向け直航するのを可とする、而して花鳥山燈臺より南水道を順次標識に沿ひ航進するのを最も安全な航路と思料される、勿論北支那と上海とを往復する船舶の捷路たる余山水道あるも水路狹隘且つ屈曲し、潮路の變化多しと稱せられるので水路に精通するものでなければ通航しないがよい、聞くところによれば內地の邦人漁船はこの水道を通ずる際支那型船（海賊船ならん）に航路を遮ぎられ、遂に坐洲發砲せられし時、他の汽船に救はれ、漁船を放棄して上海に逃れたといふ、江口における潮流の速度は相當急速なので航海者は十分の警戒を要する

二、入港より出港に至る

（イ）入港出港に當り機動漁船の注意すべき事項は必ず國旗を揭揚すること、船側左右及び船尾に英文にて船名を明記すること、吳淞港口において稅關は船口の封印を施行するに付停船すること、上海の投錨指定地は上海紡績會社及び同興紡績會社對面なる浮標の內側たること、揚荷及び鮮魚通關手續上の便宜のため日本總領事館對面なる浦東側に假泊すること、揚荷終了後は直に指定の錨地に轉錨すること、代理店は轉錨許可書を申請する、浮標使用は無料にては許可しない、浮標使用料金は三日間最低銀三十三兩にして一日增す時には銀十一兩とす、出港に際しては吳淞港口において稅關は船內を點檢するにつき停船すること而る後出港許可證を下附す、代理店は通譯及び責任上本船に便乘しその事務を斡旋する、その時間は午前七時より午後三時迄とす、各船共この時間に間に合ふやう出港準備をなし置くこと夜間の航行は特別の場合の外不許可である

（ロ）次に稅關についていへば漁船入港すれば代理店は直に通關手續をなす、關稅及び通關手數料は鮮魚關稅百斤に付稅關斤立二、二七兩、鹽魚關稅は同〇、五五兩、通關手數料は水揚高二分相當額である、日本人漁業者の通關手續代理申請には上海福建路五號居住森記興號畢小島延次郞氏が當る、入港料は漁船一噸に付海關兩十仙（四ケ月間有効にして上海港のみならず支那各港共通）（つゞく）

張景惠氏等赴奉
大豆買占め用二千五百萬元の大洋發行手續のため

【ハルビン［illegible］廿九日發】東北政務委員會は大洋二千五百萬元を發行、十萬車の大豆を買占めるとを認め、張景惠氏は廿八日總商會長等と共に赴奉した

十二月中の埠頭狀況
出庫入庫共に大激減を示す

滿鐵々道部調査になる十二月中の大連埠頭保管貨物出入噸數中重要品噸數は左記の如くであるが總入庫高四十四萬七千四百餘噸、總出庫高三十一萬三千餘噸、月末現在高廿七萬九千四百餘噸にてこれを前年同月に比較すれば入庫高に於て廿二萬五千七百五十一噸（三四［illegible］

上海の支那銀行東北で投資する
東北四行と提携し目下政務委員會と折衝中

上海支那側の大銀行である鹽業、金城、大陸、中南四銀行は東北に共同投資する爲め遼業、官銀號、中國、交通四行資本團に加入すべく先般來鹽業銀行總理吳鼎昌氏が來奉し東北政務委員會及び四行［illegible］模樣であるが右上海四行は兌換券發行權を有するも東北に於ては之を發行せず專ら資本投下に從事すると【奉天電話】

滿鐵東鐵新換算率決定

【ハルビン特電廿九日發】［illegible］日から東支鐵道日滿連絡の［illegible］ルーブル換算は百金ルーブ［illegible］四圓六十錢と決定した

人絹上場建議
東米取引所に

【東京二十九日發電通】東［illegible］會議所では二十八日東京［illegible］取引所陳情に係る同取引所［illegible］絹糸の清算取引上場の件を認め其の旨二十八日俵商相［illegible］書を提出した

［illegible］ので滿鐵技術課長の古泉［illegible］取締役に任ぜられ、監査役［illegible］金丸の兩氏となり武部監［illegible］締役に轉じた、從つて同社［illegible］は滿田專務、高橋常務、［illegible］部兩取締役、白濱、金丸［illegible］となったわけである

支那關稅引上影響
關東廳殖產課調査　（B）

二、南滿三港輸入本邦品の蒙る負擔の增加並に影響

一、綿織物類

南滿三港における綿織物の輸移入額は一九二七年五、二一九萬二千兩、一九二八年五、五二八萬二千兩、一九二九年六、五一五萬兩、この平均一ケ年輸入額は五、七五四萬一千兩にして南滿三港輸入額の最高位を占め二十一パーセントを上下しつゝあり而してこの內日本よりの輸入額は平均一ケ年三、七二二萬八千兩にして日本よりの總輸入額の三十パーセント內外に當り等しく首位を占め南滿三港綿織物輸入額の六〇パーセントに當り支那品の移入これに次ぎ三十パーセント諸外國品一〇パーセントの割合である、これら綿織物に對する今回の國定稅率を見るに日本よりの主要綿布は概ね協定品にして協定の範圍內、即ち從價二分五厘を加算增率し居るので舊稅率最低從價七分五厘內至一割二分五厘が一割乃至一割五分となり、その他協定外の綿製品は最低二分五厘より最高一割位までを加算增稅せるも、これら高率引上品は少數に過ぎない、故に綿布類を通じ日本品は大體において平均二分六厘前後の引上げと見ることが出來る、然るときは日本よりの輸入額の內大連港三ケ年平均輸入額一千萬兩の四割即ち四百萬兩を州內消費として三港輸入額より控除し、殘額約三、三一二萬兩の二分六厘、約八十六萬千百二十兩の增稅となるこれを日本金に換算せば、これに一、四〇圓を乘じ約百二十萬五千五百六十八圓の負擔增加となる譯である、而して綿織物の如きは南部支那において大なる勃興を見、綿糸工業と相俟ちて著しくその產を增加しつゝあり、昭和四年月、七種差等稅率による引上當より滿洲移入額も外國品に比し［illegible］その增加率を增したが今回の引［illegible］なり、その主要供給國たる本邦支那品の稅率との開きは愈々大［illegible］增稅と雖も金系立なので兩によ［illegible］により益々その躍進を促すべき［illegible］明かなるを以て、二分五厘前後［illegible］受ける打擊は僅少に非ず、なほ［illegible］れら綿製品の協定期間は僅か三年にして既に七ケ月を經過し［illegible］ろところ二ケ年五ケ月に過ぎず［illegible］若しこの期間經過後において本［illegible］定を廢棄するが如き事あらば、［illegible］那は國內製產狀態に應じ或は此［illegible］本位により自由に增稅すべきは［illegible］であるから本邦品の對支輸出［illegible］は懸つて協定の存續にありと［illegible］も過言でない

農業金融機關の組織と機能
（15）獨英伊の對人信用

シュルツエー式組合

農業上の對人信用に關して重要な問題は制度と組織を如何にするかといふことである、先づ制度においては國家その他の公共團體自ら行ふものとするか、又は產業組合その他の公益法人をして行はしむるかゞ問題となる、アルサスロードレン州では地方自治體自ら對人信用の機關を設け、又公の貯蓄金庫（獨逸）も貸付を行ふといふ風にこの種の例も相當あるが、大多數の場合は產業組合の如き公益法人が特別に組織されてゐるのを通例とする、獨佛その他各國は大抵この原則をとり我國もそうである、次に組織においてもこれを公益法人とすると業務上主として國家の扶助による資金の如きも國家より融通を受け凡て國家の後見の下に業を行ふのと主として自助の精神により、國家の援助を受くるにしても、それは大體における保護獎勵を受くる程度に止め、業務は自己の力によって行ふのを本旨とするものとの區別がある、フランスの信用貸付制度は何となく前者に屬し、ドイツの貸付組合の如きは後者の適例であり、我國の信用組［illegible］合はドイツの例に則り自助を以て經營機關としてゐる

◇

近世產業組合運動の祖國はドイツとイギリスと稱せられる、然し同じく產業組合でありながら兩者は相當性質を異にし、前者が主として消費組合であるのに對し後者は主として信用組合である、而してドイツの組合組織による貸付機關は廣く天下に範を垂れたものである以下獨佛伊における對人信用機關の組織と業務の特色につき少しく述べることゝするが、その他の國におけるものはこれらを以て推せば足りるであらう

◇

ドイツの產業組合はシュルツエー式組合とライファイゼン式組合との二大系統に分れてゐるが先づシュルツエー式信用組合より述べることゝする、これは元來都市における中小商工業者を主要とし、主として中產階級の產業上の利便のために設けられたものであるから大多數は都市に存在し而もその業務の方針は銀行的臭味に富む、尤も農村において農民の利用のために設けられたものも少くないが、大體において都市的たるは否めない、而してなるべく多種類の人々を吸收して組合員たらしめ、出來る限り大なる資本を集め、その資本の大なるを以て金融上における信任を厚實にし、業務上の實力を大にせんと欲する、但し組合員たるべきものは獨立の產業を營むものたることを必要とする、組合は元來慈善的のものでないから、獨立する者が集って、集合の力によって自助的に產業上の利便を圖るを以て主眼としてゐる、而して組合員の無限責任を本則としたが、この事は後に大いに緩和され出資額を限って有限責任となすものが多きに至った、資力大なるものが多くの出資持分を有して强大な權力を振ふに至るのを避け、組合の民主的性質を失はないためには組合の持分は一口に限るといふ方針を採つてゐる、次に組合はその業務を行ふに當り相當の利益を擧ぐるを可とし、利益金はその一定部分を積立金に繰入れる外は組合出資額に應じて配當するものとし而も配當は相當大にすれば益々組合員の貯蓄心を刺戟し組合に資金を吸收することが出來るといふ見解を持つてゐる、貸付は三ケ月を原則とし、唯だ必要に應じてそれを更新延長するを得る定めである、組合はまた有價證券の資買手形の割引などを行ひ、動產擔保に對する貸付も爲すが、唯不動產に對する貸付は原則として行はない、これを要するにこの式は頗る銀行的で普通銀行の行ふ業務を行ふのみならず、業務の方針が銀行的である、これ、この種が庶民銀行と呼ばれる所以で［illegible］

市況

特產

錢鈔

株式

市場電報

爲替相場

奧地市況

滿洲日報

家庭

生産過剰の日本の教育
上級學校入學者は十分考慮せねばならぬ

我國は貧乏に似合はず小學校でも中學校でも餘りに贅澤だと云はれる程完備してゐて外國人が日本内地を旅行して「日本人の生活は氣の毒な程貧弱であるが立派な建物だと云へば學校だと思へばよい」と云つて驚いてゐる、國富の割に學校に力を注ぐのは世界に類例のない特徴であるが、それがため國民の負擔を多くする缺陷も伴ふ、又生徒の入學率も良く

＝義務教育等＝

は世界に誇る程入學率がよい、然し之にも亦缺陷がある、學校の制度にしても歐米の如きは學校が先に出來て規則を作つたのであるが日本では學校の規則を定めて學校を作つたのだから學則が立派であり、大中小の學別は日本のみである、然し又其處に自然でない無理が存する、それのみならず上は大學から下は小學に至る學校の規則を見ると、學校本來の目的は人格養成に出來てゐて規則には申し分ないが實際は各學校が

＝職業教育に＝

濫れてゐるに過ぎないのである、大學を出れば就職せねばならぬとの考へは本人のみならず教員も家庭人も皆が望んで止まないのである、日本の教育はオーバ・プロダクトと云ひ得やうか、親も本人も能力、資力を考へず唯だ進む事を知つて守る事を知らない、之れは上述の學校を餘り重要視した缺陷であり大學難も之れから起つてゐるのである、現在大學を卒業して職が容易に得られるならばあせる必要はないが在學中の成績が良くなくては就職が出來ないから

＝人格を養ふ＝

事などはそつちのけで唯學業成績を良くして就職しやうとする、この知識教育に傾いた事が凡ての入學難の根源であり、就職難の源泉である、例へば小學卒業生が中學校を選ぶのに上級學校への入學率のよい中學校に入學したいとあせるから入學難が起る、日本が世界一等國になつたのは教育のお影ではあるが、猫も杓子も學校々々と云ふ、この

＝學校偏重の＝

弊を國民はもう悟らねばならぬ時期で國民全體が本當の教育に進まればならぬ、品性を養ふ事に進み人格の尊重される時代を作らねばならぬ、知的教育は天才も平凡化しすべての缺陷は其處から生れるだから家庭人も入學志願者も學校は品性を養育する爲めの處であり學問の手ほどき位をする處であると考ふべきである、それ故自己の能力、家庭の經濟力に適應して學校は自家に近い處のものとか

＝上級學校へ＝

の入學率け惡くても人物養成の爲めに良い學校とかを選ぶべき事に本人は勿論親達も自覺して總てが人物本位に進んで行く時代を作つて行くべき時期であると思ふ（三）

輪田元道氏

ライブラリー　餘談
丙午生れの女と迷信

□丙午生れの女は男を喰ひ殺すといふ いつの頃に誰が言ひだした事か知らないが罪造りな傳説を殘したものである、此のために縁談が纏まらず、若い女が自殺したり、一家親族が大きな不幸に淪したりするやうなことが世間には少くない

□だが考へて見ると變な話で、丙午生れの女許りに罪をきせて男を見逃してゐるのはまことに不公平な話であるし、又こんなたわいもない迷信をまことしやかに信じる人も餘りに時代離れがしてゐる

□今年二十六歳が丙午生れになるのださうだから、丁度婚期の盛りであるが、こんなつまらない迷信のために結婚に迫害を受けるやうなことがあつたら、それこそ重大な社會問題と言はなければならぬ

手指の美しさ

手の美しさは女性美をどれだけ引立てるかしれません、白魚のやうな纖細さと纖細工のやうな滑らかさ、恐らくそれは女性美に缺ぐことの出來ない大切な要素でありませう 顔だけ塗りたてゝゐればそれで滿足してゐる日本の婦人も近年漸く手の美化に目覺めて來ました。

感冒と子供
室温が高過ぎると風をひき易い
▽攝氏十七度を超えぬやう△

惡性の流行性感冒が流行つて來ましたが お子樣の豫防には何と言つても家庭での注意が一番肝要です、即ちお子さんが風邪氣味の時は人ごみに出さず、マスクを掛けさせ食鹽水の含嗽や、食前に手を洗はすことが必要です、室内の溫度は餘り高くなく攝氏十七度以上にはしないやうにせねばなりません

勿論この他に濕度といふものが大切ですが、濕度とは比濕のことで濕度さへ高くなければ滿洲の學校や家庭では常に六四・五%から四七・八%の濕度を保つことが出來ます、だから風を引かない程度に濕度を保つことが必要なのです。

牛肉の　—お吸物—

◇材料　牛肉、片栗粉、うど及柚子少量

◇拵へ方　牛肉のよいところを一寸角位に切り、それを又小口から薄く切り、表裏に片栗粉を萬遍なくまぶし、俎の上にならべて擂木で輕くトン／＼とたゝき又其の上に前同樣萬遍なく片栗粉をつけ鰹節の煮汁で拵へて置いた煮汁の煮立つた中へ一切づゝ入れ、それに笹がきうどを少しばかり添へ、暫く煮てから柚子を添へていたゞきます

感想斷片
—投稿歡迎十行以内—

◇…人間といふものはかなり勝手なものであると思ふ、私は月末になるといつも集金にあるくが若しツケが間違つて多くついたりして居やうものなら顔ごなしにガミ／＼やられるが、少くついてゐる時は知らぬ顔をしてゐる、とかく世の中といふものはさうしたものかも知れない（大石橋自由像生）

◇…流感猖獗のため缺席兒童が多いといふので小學校は休校してゐる、しかし缺席者は各校とも一割内外であとの九割内外の兒童はピン／＼してゐるわけであるが休校の趣旨が學校に於ての傳染を恐れてゞあるならば患者の登校を差止める方が遙かに合理的ではあるまいか、當局者の御一考を煩はしたい（旅順一父兄）

協和會館を語る
大連滿鐵社員倶樂部書記長　眞殿星麿氏

◇協和會館も市民からだん／＼認められるやうになり、此の頃では大連市の娯樂機關として主要な存在の一つになりました

◇昨年の秋一部を改築してからは收容人員のキャパシチーも多くなり喫煙室も出來たので改築前に比べるとよほどゆつくりして來ましたが、冬分はバルコニーが使へないので休憩時間などは喫煙室だけではやはり窮屈なやうに思はれます

◇觀覽席の椅子の間隔をもつと廣くすることが出來ないかといふやうな要求もありますが、外國の劇場あたりでも前の椅子との間隔は二尺四五寸が普通で人の前を通る時にはエキスキューズミーで立つて貰ふことがあたりまへのことになつてゐるのですから、まあこれで我慢をしなければならないでせうネ

◇協和會館に來る觀覽者がいづれもよく公衆道徳を重んじてくれることは嬉しいことです、服裝なども見苦しいのは殆んど見當りません、映畫の終りが近づいても慌しく歸りかけるやうな不作法な人もないやうです、子供を連れて來る人はチヨイ／＼ありますが、内地の家庭と違つて大連あたりは大てい留守居の老人も居ないことですから或程度までは仕方のないことかも知れません

◇社員倶樂部の主催で催すのはやはり映畫が主ですが、今度ベヤレスを備へてから非常によく映るやうになりました、此の次はトーキーですネ

ダンス漫談（上）
新井光藏

極東一の文化都市として誇る吾等の大連に缺けたものが二つ、それはよきブラスバンドとよきダンスホールである。四五日前の本紙に某市議員の談として外人との融和を計る爲、ダンスホールの設備云々の記事があつたが、私とすれば觀る外人を主とするよりも、邦人を主とする邦人總帶の極めて充實された設備のダンスホールが一つあつても宜いやうに思ふ。唯警察が許可しない爲

ダンスホール設立が行惱み

の狀態にあるが、露人總帶のポンペイ又はビクトリヤに許可して邦人に對しては「靜りならぬと云ふ怪しい御達し」は矛盾がありはしまいか？何でもないリズムに合せて、音樂的に歩けば宜いダンス——パレットを除く——を夫れ程嚴重に取締らなければならないものか？近年ダンスから全く遠ざかつた私ではあるが、感じたまゝを書いてダンス黨の爲にも又アンテ、ダンス黨の爲めにも次の一文を御參考に供したいと思ふ。

大連のダンスホールとして

代表的なものは、ビクトリヤとポンペイでありますが、エミグラントロシヤ人のダンサーは餘りにも恐らしい姿ではありませぬか。扮飾された彼女、ダンサーの生活は、生活の爲め、涙でステップを踏んでる人々でありませう。彼女等の躍るダンスホールから受けた印象を與謝野晶子女史は滿蒙遊記に述べて居りましたが同感であります。ヤマトホテルに於けるダンスの夕は＝同ホテル專屬の優秀なる管絃樂團と共に＝茲には例外として、ビクトリヤ、ポンペイに於て、

ダンス慾を滿足させなければ

ならない大連人士は氣の毒だと思ひます。殊にそのバンドはもう少し改善の餘地なきものか？ダンス排撃の火の手はあんな處にも基因してゐるのではないでせうか。最近の新聞の記事にもあつた如くバンドの演奏は極めて短い分秒であつて、それに對する切符の料金は暴利を貪るものであります。が營利が目的であるから經營者としては當然かも知れないが、分秒に寄げもなく黄金をバラ撒く、江戸ッ子の脊越的な氣前を見せるニッポン人が多いから不思議である。

彼等のダンスホールは榮え

るのである。此の二つのダンスホール——實はレストラン——の雰圍氣は同じエロでも極めて低級なものであつて、ダンスそのものを誤解させこそすれ、よき理解を抱かせるダンスホールではない。大連として斯の樣なダンスホールをもつことは恥辱である。——レストランと云ふよりは邦人間にはダンスホールとして一般的になつてゐるから警察もそれに從つて敢てダンスホールと稱す——殊にバンドに提琴が缺けてゐるところもあるに於てをやであります。大體警察は

低級極まるダンスホールを

何故外人經營を許可して、日本人の經營する高級ダンスホールを許可しないのか不可解である、ダンスからのみ醜事が發生すると思つたら大きな間違ひであります。三面記事を賑はす醜聞統計を作るだけの閑がないから、茲では證據だてられませぬが、ダンスのみに怖い眼を光らすのは一方に偏しては居りませぬか？勿論ダンスに端を發した醜聞はありますが、それは偶然にも尖端人であつた爲、言論機關の好奇心な宣傳材料になつたまゝで、數に於て遙かに多い保守的な明治型醜聞はジヤアナリスト、知つてか、知らずにか問題にしない。ダンスの惱みは其處にあります。

極めて異例な事實があつた

爲ダンスを壓迫するよりも、もつと緩慢な態度に出てよりよく指導した方がよくはないか。ダンスする人——尖端人、尖端人はダンスする人と云ふ自惚れは戒心すべきことであつて、冒頭に書いた如く——何でもないリズムに合せて音樂的に歩けば宜いんです、但し多少の技巧は要しますが……。私に云はせれば、ダンスの仕方位を知つてなければ夕食後の散歩に、漫歩に、音樂的に歩く愉快さを解さゞる人であるとも思つてます。旋律的な、テンポをもつ歩行——莫迦々々しいと云つて了へばそれつ切りのものであります、が道路の

大連のペーヴメントを歩行

完全を誇る快適はそこにあります。ダンスは決して嚴肅なものではありませぬが、と謂つて墮落したものでもないダンスの極致は動美の表現に在ると解すべきが妥當である。此間に於ける解釋は個々別々のものであつて男と女（社交ダンス）が手を觸れ、音樂のメロデーに浸つて踊ると云ふことは、踊る人相互の教養、服裝、趣味、環境の如何によつてどうにでもなる。如何はしいダンサーを對手に踊つた場合の感じをそのまゝ他に當嵌めて思惟することは、錯誤も甚だしいものである。

相談欄

▼何事によらず御相談に應じます
▼質問はすべて端書のこと
▼滿日相談欄宛て

二つの著書

ブハーリン著「史的唯物論の理論」プレハノーフ著「藝術について」以上二冊の譯本をどこかで出版して居たら發行所及定價をお教へ下さい（安東北生）

ブハリンの「史的唯物論」は數種の邦譯があります▲唯物史觀（富士辰馬、横田千之譯、大正五年改造社、三圓五十錢）▲史的唯物論（綠崎輝譯、昭和二年同人社發行、一圓）▲史的唯物論の理論（廣島宜吉譯、昭和二年白楊社發行、三圓）▲史的唯物論（直井武夫譯、昭和五年同人社、一圓）第二の綠崎氏譯はドイツ譯からの重譯ですが好評があります、但し現在絶版、第四の直井氏譯は露語原本よりの翻譯で信頼するに足るものです、プレハノーフの「藝術論」に關しては「藝術論」（外村史郎譯、昭和三年叢文閣、六十錢）▲階級社會の藝術（藏原惟人譯、昭和三年叢文閣、一圓）▲藝術と社會生活（藏原惟人譯、昭和二年同人社、八十錢）等があります

齒列矯正法

二月號の婦女界誌上に東京帝大齒科の飯塚ドクトルが陶材による齒列矯正法について書いてゐましたが市内の齒科醫でやつてくれるところがありますか、費用日數の大體をお教へ下さい（市内豐子）

陶材による齒列矯正は市内の齒科醫で新らしい齒科技術を修めた人はやつてゐます、普通の矯正法と違つて陶材による矯正は極めて簡單で日數も長くかゝりません、費用は普通の加工齒などゝ殆ど同樣です

子供に隆鼻術

十五歳の娘に隆鼻術を施して頂きたいと思ひますが、發育盛りの子供に施してもよいものでせうか（樂師街高橋）

隆鼻術にはパラフインを注射するのと、象牙をはめるのと、肉をうゑつけるのと三通りありますがいづれにしても成長を待つて施術してもらつた方がよいでせう

工場見習生

毎年募集してゐる沙河口工場の日本人見習生は本年は中止するやうに聞きましたがほんたうでせうか、若し募集するとすれば應募資格、年齢等お教へ下さい（市内一馬生）

毎年四十名ばかり募集して居りますが本年は幾分少くなるでせう、中止はいたしません、募集は三月末頃、資格は高小卒、十四歳から十六歳までゝす（沙河口工場人事課谷）

滿日各地版

奉天

兵工廠附近の壁に共産黨のビラ貼附
當局嚴重に内部警戒

昨年末の某所における共産黨事件以來奉天に於ても多數潛入してゐるらしく當局でも大警戒を行つてゐるが、去る廿六日奉天兵工廠附近の壁に赤紙に共産黨の文句を書きつられた多數ビラが貼り付けてあるのを發見し同廠でも狼狽して内部の警戒に努めてゐるが右共産黨は工場、會社の勞働者を煽動し……

會議所令發布 建議

奉天議會では來る三十日午後二時より議員會を開催し會議所令實施……

義人の不正行爲を防止し不動産の擁護に努めることになつた、そして之が會長には地方委員尾崎濟氏副會長に王商務會長が選定された

◇盛大な鎭座祭を施行する由

◇新潟縣人會の新年宴會は三十日午後五時から志城飯店に於て開催されるが會費は一圓五十錢當日持參されたいと

◇敎專問題で奮起した東部……の應援團は二十七日安奉線……奉し敎專の存續目的貫徹の……いに後援することになつた

◇昨年十月大連信濃町原方の……口はな（二三）が突然家出し……各方面に手配し搜査中であ……人は奉天のカフェーに於て……ゐる模樣があると云ふので……へ再搜査願を出した

◇奉天ヤマトホテルの洗濯部……去る廿四日附で正式に認可……が洗濯の注文はホテル内の……社用品のみと限定されてあ……

人事

▲三宅關東軍參謀長　廿八……連山關へ
▲牛島北平公所長　廿七日……にて歸任
▲三浦大尉　奉天駐剳初年……奉し來れる同大尉一行卅……八日夜離奉歸國

舞踊と映畫の夕盛況

驛の設備改善協議會

蘇家屯公費區設置陳情

柳河への道路新設陳情

商務會不動産管理會設置

町のニュース

撫順

紀元の佳節に撫順少年團正式結團
州外のトップを切り撫順神社で華々しく擧式

撫中の怪火
第三學年乙組敎室の壁から發火す

山東方面からの華工を逆送
舊正歸省を機會に撫順炭礦が採掘能率の增進で

政局大觀

三長老の運動奏功 安達系策動の頓挫
(一) 旭東生

安東

失職鮮人は鳳凰城地方移住
當局耕作資金を考慮

衞生隊の施療に地方民感謝
竹內衞戍分院長談

魚菜小賣市場改善に努力

感冒の豫防
うがひとマスク

鞍山

全滿地方委員大會出席慫慂

氷滑大會鞍中出場選手

鞍中氷滑大會成績

義士會打合せ

鞍山驛の打合

給水事故防止檢査

鞍山小學校の流感終熄

商業入學試驗

中學氷滑大會

會議所議員會

長春

新聞稅の實施でお酒値上か
來月から實行の模樣

押賣り行商人

高知九氏歸任

鮮人學校異動

鐵嶺

流感蔓延し病院は滿員

照明改善
驛構內の

四平街

遭難列車の機關士等の働き
江崎機關方の苦心談

小鳩會生まる

兒童慰安活動

開原

鐵開守備隊が攻防演習
滿井附近から蛇中嶺にかけ四日がかりで行軍

列車顚覆事件實地檢證

機關方轢殺事件公判

吉田部長着任

地方事務所通譯

貔子窩

舊正を控へ警官不足

佐野主計監巡視

田園地帶を旅して
滿鐵沿線に働らく人々

—(一十四)—

生　波　鮮

…に依って何時も急ぎの旅だ、遍れく鐵嶺の農業者を訪問し得なかつたが、きけば鐵嶺衛尾百姓になり切つて、專心本業に精勵して居るのは鐵波伊之吉君だらうとの話、山田經理君の紹介で同君を訪れると、私と同然且つ同縣人、如何にも農家らしい様子だ、少し…

…まへ島から歸つた所でと、仕事着の儘鍬打ちかけてかたり出す、渡滿したのは明治三十九年冬、暫く營口で酒保を營み、翌年二月鐵嶺移轉後も、同じ職業を續けたが、機運利あらず、三年間に二千五六百圓喰ひ込んだ、已むなく方針を變へて滿鐵苗圃に入り…

…四十三年から大正十三年まで十五ケ年土いぢりを勤め拔いた…それが君に農業に就ての經驗と…

旅順

鷄卵共同出荷の成績は頗る良好
產額は日に千二百個

去る二十日旅順民政署において創立會を擧げた旅順農會の鷄卵共同出荷事業は當初の豫想を裏切り非常なる良成績にて在旅養鷄家は勿論農會においてもその好轉振りに意外の感を抱く次第で現在の產額は日に千二百個內外であるが旅順の一日需要高約三百個を下らず大連の需要數日々千五百個の注文あるので不足を告げつゝある次第であるが、なほ農會では來る二月一日から生產者より農會一個所に集めたる上各方面の賣店へ夫れぐ適宜に供給する事となつた

◇

…それぐ賞品の授與を行ひ閉會した

◇

頃日語學校で開催した靑年聯盟旅順市部總會は創立滿二周年の祝宴を開き盛大を極めた、尙當夜役員改選の結果新幹事として安本勝房浮田寅二郞、萬代啓吉、堀內務、岡野新三、川中勝、松崎秀憲の七氏推薦された

醫院食事試食會

關東廳旅順醫院では二十八日午後三時より同院樓上において厚東要塞司令官、井上工大學長中谷警務局長、永山市長、家原二等軍醫正、水谷地方課長、大津療病院長、黑井衞生技師、樋口重砲隊副官、我澤赤十字主事其他婦人連等を合し約三十餘名を招じ普通榮養食試食等の第二試食會を開催渡邊院長の挨拶あり食事中玉置小兒科部長より實驗上又は統計上より觀たる日常生活と食物の關係に付詳細なる說明講演があつた

死んだ人

▲元寶町　官吏木藤熊吉(三七)二十七日死亡

死んだ人

▲忠海町四　土木建築請負業磯谷喜一氏長男昭一君十四日出生

瓦房店
荒谷特務曹長敍勳

瓦房店守備隊勤務特務曹長荒谷…

スケート競技會

來る三十一日土曜日を期して全瓦房店氷滑大會を小學校北側なる氷滑場に於て開催する事となつたが多數會員の參加を希望する由

兒童に體育を奬勵

瓦房店小學校にては中條校長を始め全教職員一同は兒童の體育健康に甚大の注意を拂つてゐるが昨今晝食後一時間宛職員兒童一齊に戶外に出て兒童の體力に適應したる運動を獎勵して居るか將來相當の設備等を考慮して居る

川上氏の奇特

當地歷住瓦房店上嵐永氏は令閨亡後一周忌になつたので其の香奠返しの代りとして瓦房店小學校父兄會に金三十圓を寄贈した

…氏は今回勳六等單光旭日章に敍せられた平時准士官にしてこの名譽ある勳章を賜りたるは全く稀有の事にして氏の勤務勉勵實に長期に亘り海外勤務に盡粹したる結果其人格技倆の然らしむる處なるべく氏は此鴻恩に感泣し將來倍々の努力を以て奉公を全うすべく決心して居る因に氏は大正四年十二月一日現役志願として廣島步兵第十一聯隊に入隊爾後累進して特務曹長に進級大正十三年三月當守備隊に轉任今日に至つたのである

八相
胃感と休校

◇流行性感冒の流行、…は歯の拔けたやうに休む、…では仕方ない、臨時休業とする外はないといふので二十日から休んだ。…仕方がない。無理に登校しても臨る…々益々流行傳染さしても臨る。

投書歡迎

…新聞行數五十行以內のこと。

映畫と演藝

一中の氷滑會

旅順第一中學校では來る三十一日(土曜日)大正公園において午前八時開始正午終了の豫定を以て第十六回の氷上運動會を開催する由

大連に於て新春上映物に次で果然人氣百パーセントを占めてゐる本紙連載中の映畫物語り「八荒流騎隊」は愈々來る二月一日二日の兩夜昭和園に上映される事となつたので例に依り本紙愛讀者に限り當日の本紙欄外半額優待券持參者は階上階下共半額で入場し得られる▲二十八日より三日間昭和園の筈であつた歌舞伎劇澤村源之丞一行は沙河口の人氣で遂に日延べとなり歸つて旅順來演は同地打揚後となつた

黃金臺

◇

二十七日旅順警察署にては午後二時より演武場に於て武道寒稽古の納會を開催第二遣外艦隊憲兵分隊等よりの參加あり盛大を極め柔劍道共四時終了加藤署長の挨拶より…

金州

突然の取止めに花栽培者大恐慌
目下善後策考究中

盛夏の頃當地に來る者は赤や白のいろくに色取られた花園をところぐに觀賞する事が出來るであらう、あれは決して觀賞とか道樂とかで栽培したものではない、あの種を取つて外國(主にアメリカ)に輸出してそれで一家の生計を營んでゐるのであるから、あれで立派な農業である、それが今年から來ぬから栽培する事を止めて吳れこの不景氣では如何することも出來ぬと橫濱の種子輸出商坂田商會から斷つて來たので同業者は周章一方ならず善後策に腐心中であるが何等對策の方法もなく全く途方に暮て居るもとくこの花栽培は坂出商會の委託に依つたもので昨年の植付面積が二十町步、收穫高が約一萬圓を上りそれを正業とするもの四、五軒あり副業とするものは多數に上つて居るので正副業の收入を全く杜絶たれる理で…あるから、此の不景氣の打擊とは…

嚴重な見張に
追剝や强盜閉口

南山裏の蘇家屯派出所からずつと西に當る金大道路の霄道は有名な…

全旅親睦かるた會
恒例　全旅順親睦かるた會

◆日時　二月十一日(紀元節)正午
◆場所　靑葉大廣間
◆會費　金一圓(茶菓夕食を供す)
◆試合　【い】源平試合【ろ】個人試合(五回戰)【は】新舊市街對抗優勝旗爭奪戰
◆組分　月、雪、花、婦人組(各組一等より五等迄)
◆賞品　純銀メダル及び萬朝報公認メダル、其他副賞を贈呈す

主催　全旅順親睦かるた會

後援　滿洲日報旅順支社　河合新聞取次店　外山洋行新聞部　文英堂書店　大阪屋號書店

遼陽
物騷な華人失業者

遼陽縣公安局の調査によれば附屬地村に於ける下級華人の失業者は千以上に達し尙續出の傾向にあるが、之等の失業者は殆ど失業者と見做す能はなる失業者と見做す…れば强盜を働くので官憲も少からず憂慮して居る…前來城北新城附近には餓死せる者數人を發見し…

遼陽縣商務會招宴　遼陽縣商務會では廿八日…

寒稽古納會

管外に二人組强盜

露西亞語講座

А.—Давненько мы не видались. Когда вы приехали.
Б.—Я только что приехал.
А.—Ну, тогда вы, вероятно, очень утомлены.
Б.—Прошу вас помочь мне, так как я из Японии перескочил прямо в средину Европы и понятия не имею о здешнем образе жизни.
А.—С своей стороны прошу вас довериться мне. Но как вы путешествовали.
Б.—Все шло хорошо со времени моего от езда из Японии до Порт-Саида и без всяких происшествий. Нам пришлось выдержать легкую скачку в Средиземном море, но, в общем, ничего особеннаго не произошло.
(Продолжение в следующую пятницу.)

A.—しばらく、何時御著になりましたか。
B.—只今著たばかしです。
A.—其は其は、さぞ御つかれでしたらう。
B.—日本から、ヨーロツパの眞中にとびこんだものですから萬事樣子がわかりませんで、何分よろしく御願します。
A.—其れは御たがひ樣、ところで途中はいかがでしたか。
B.—此んどはたいへん幸で日本を出てから、ポーツサイドまで、しごく無事でした地中海で少くやられました、けれども、かく別な事もありませんでした。
(續は此ノ次ノ金曜です)

映畫物語　八荒流騎隊 (9)

直木三十五原作　東亞キネマ特作品

興國篇 (二)

三須香之進と小菊、貫島要と加壽美の姉弟、この二組の間に時に似合はぬ艶な話が持ち上つてゐる頃伏見に上つた長州の桂小五郎は、とある料亭に戶波紘四郞と會合してゐた。

久しぶりでの對面ではあるが今の場合そんなことはどうでもよかつた、小五郎の眉の間には險しい氣持ちが現れてゐた。

「のう戶波、貴公大役買つてくれるか?」

「事、勤王に關することなれば…」

道衡詩話

滿日案內

人事

貸家

賣買

電話と金融

藥と治療

印刷と寫眞

雜件

諸營業

於各博覽會品評會名譽賞牌受領

酒は呑め〳〵 元氣で勵め 同じ飲むなら エイクンを

大連 辻利ビル内 電話 三三八七・四七七六番

内科専門

大連市浪速町四丁目扇芳亭横

安富醫院

電話八五〇〇番

小兒科専門

金子醫院

医学博士 金子甚蔵

大連西通七八◆電七六六一

トキワ橋ト西広場電車通中間◆

帳簿類ト事務用品

連鎖街銀座通り

内田洋行

電六九二二九

耳鼻咽喉科

澤田醫院

大連市西広場三河町角

電話五四一〇番

眼科専門

大連市西通六十四番地

王仁医院

電話六七五二番

水道器具
衛生器具
私設下水
汚水淨化
消火器
暖房器具

須賀商會滿洲總代理

株式會社 進和商會

電話代表八一三七番

資本金壹千貳百萬圓

大連市大山通十一番地

株式會社 正隆銀行

電話七一一一・振替（大連）三二〇

頭取 安田善四郎

相談役 安田善次郎

支店 旅順、營口、鞍山、奉天、撫順、開原、四平街、鄭家屯、長春、公主嶺、哈爾賓、青島、天津、安東

派出所 小崗子、沙河口、奉天小西關、傅家甸

顔面と肌膚と毛髪との

原料の精選 工程の合理化 大量の生産等は凡ての産業に於て 優秀なる製品を産出するに 最も肝要なる條件であります

◎ミツワ石鹸は勿論 この生産の條件に適合して 良質にして廉價たることを得優秀國産として其聲價益々高きは 畢竟各位深甚の御愛顧に依る賜と感佩に堪へざる所であります 尚一層の御引立を希上ます

優秀國産品 溶崩れず三倍保つ ◎ミツワ石鹸

本舗 東京 丸見屋商店

後まで匂ひが殘るのは、其多くは石鹸分と一緒に殘るのです。ヌラ〳〵する所以で有ります。又、作用の強過ぎる石鹸は、皮脂を取過ぎるから、皮膚を刺戟し且カサカサにいたします。固より大に避くべきであります。

1,50

ぢ 如件

登録商標

私ゃ備前の岡山生れ ぢびる病氣は若にはせぬ 有名なる専門家傳のみくすり いぼぢきれぢぢろう、だつこ、ぢ出血ぢ痛

七日分二円 十五日分四円 四十日分十四円 送料十三銭代引廿五銭

注意 ぢノ手術、肺病ヲ誘起スル恐レアリ 又手術後再發或ハ子孫ニ遺傳スル患者沢山アリ

切らずやかず（説明書無代進呈）呑んでぢふさる妙の薬

販賣店（募集）

岡山市椿亜甲南詰 肛門薬商會 振替大阪四九二五三

滿洲代理店 大連市西広場（但馬甲入口） 肛門薬商會

ニセモノ多数あり御買求の
節はウラベリさレテルの
社名に御注意

合理化時代ニ好適

実質的御贈答品

日清さらだ油

高級食料油

ノモイル

大連市西広場西入る電車通

池田小兒科專門醫院

池田嘉一郎

電話六三六五番

新

天感ランプ

天感瓦斯入電球

もちよく明るく電気がお徳な経済電球

内は艶消、眞珠の表

放つ光は春の色

TEC

東京電氣株式會社

商標 GY

車軸油

營業品目

揮發油 石油 機械油

重油 車軸油 植物油

魚油 サラダ油 油類一切

テキサコルーフイング、ピッチ

龍印ボイラーグラハイトペイント

大連市紀伊町五五番地

合資會社 矢野元商店

電話 八三五八 七四一三 番

獨乙カールツアイス社特約店

ウロプンクタール（高級紫外線除け）

プンクタール 近視・遠視レンズ

プンクタール 亂視レンズ

（亂視遠近視度數全部取揃へ即時調製致します）

◆型錄御一報次第進呈◆

ZEISS

大連市浪速町磐城町角

眞聲堂眼鏡店

電話七六五九番

振替大連四〇八七番

建築・設計・監督

構造・計算・鑑定

宗像建築事務所

大連市連鎖商店街広小路

工学士 宗像主一

電話二三五五・二三二六番

理想的採暖燃料

瓦斯コークス

特色 火力強大にして絶對に無煙、火持永くして経済向 年中煙筒掃除の必要がありません

容器 コークスは一噸32袋 半噸16袋 四半噸8袋
石炭は一噸12袋 半噸6袋 四半噸3袋
丁度石炭の倍以上になります

瓦斯コークス販賣店

泰順洋行

電話五五二三 五五〇一番

廳令正誤の無効を前提に 辯護士團の前衞論戰

檢事から藥品の名稱を回答し 法院は衞生研究所に鑑定委囑

ベンゾリン續行公判

白川一味にかゝるベンゾーリン密輸事件の續行公判は廿九日午後一時から開廷された、午前中大出黑辯護士が劈頭檢事に質問の矢を放ちベンゾールの藥品名を學術的に定義せんとしたことは本件の進行上重要なる點で、注目の焦點となつた、卽ち昭和二年九月廿八日關東廳が發布した嗎啡類取締規則中モルヒネ、コカイン及び鹽類又は誘導體若しくは含有物

とのみ記載し如何なる手違ひであつたか肝腎の「誘導體類」なる條文が脫落して公布された爲め關東廳では同年十月六日附廳令でこれを正誤訂正した、苟くも廳令の內容改廢はこれと同樣の力あるもの、卽ち廳令を以てなすべきであるに單なる「正誤」では法律上效力を生じないといふのが疑義の重點であつて、萬一法律上無效と認められるが如きことある場合は被告等が輸入した藥品は鹽酸ベンゾイールモルヒネ及び鹽酸ヂヤシチールモルヒネであるから正誤前の條文には該當せず、當然取締藥品中から除外されるとの解釋が下される譯である、よつて豫審調書及び檢事の意見調書中にあるが如く通俗的な藥品名稱ではなく學術上の藥品名に定めて置くの必要があるといふのが辯護士團の主張であつて、廳令の正誤を法律上無效とするを前提とした前衞戰であつた、從つて午後公判に於ける岡檢察官の答辯は注目されたが、檢察官は

川上等が郵便局に出した藥品交附書にも單にベンゾールと記載し化學藥品として輸入してゐる、從つて學術上の名稱は詳かでないが起訴意見書中ベンゾーリンが如何なる藥品に屬すかといへば、誘導體の鹽類と見るが至當である

と答へ、正誤の條文中に含まるべきことを明かにした、裁判所側でも輸入藥品が如何なる藥質であるかは裁判進行上重大なる關係あるものとなし職權を以て滿鐵衞生研究所後藤良亮氏を鑑定人に定め左の鑑定事項を依嘱した

第一、關東廳地方法院昭和五年公第五〇一號第五〇二號第五〇三號第五〇四號第五〇五號第五〇六號第八〇七號第八〇八號嗎啡類取締規則違反等被告事件の領第一〇八號の第一七三號の藥品中より鑑定人の任意抽出したる物

第二、瑞西「バーゼル」の「ホツフマン、ラ、ロツシユ會社、獨逸「ハンブルグ」の「ヘツシユ、ヒンリクセン」商會の取扱に係るものにして通俗に「ベンゾイリン」と稱する藥品

第三、同上の通俗に「ヘロイン」と稱する藥品

第四、鹽酸「ベンゾイール、モルヒネ」（鹽酸ベンゾイリン）

第五、鹽酸「チアセチール、モルヒネ」（鹽酸ヘロイン）

第六、獨逸ハンブルグ、ペーリンゲル會社の發賣せるものにして通俗に「ゾイリン」右第一乃至第六の藥品は孰れも

（イ）モルヒネ（ロ）コカイン（ハ）モルヒネの鹽類（ニ）コカインの鹽類（ホ）モルヒネの誘導體（ヘ）コカインの誘導體（ト）モルヒネ誘導體の鹽類（チ）コカイン誘導體の鹽類（リ）（イ）乃至（チ）の藥品含有物

の孰れにか該當するものなりや該當するものとせば其の孰れなりや

急所を突かれて 小松、川上恐れ入る

谷と鎌野は徹頭徹尾犯意を否認

被告の事實審理

辯護團の前衞戰ようやくおさまり裁判長は被告小松茂から事實審理に入る

裁・・判長　被告は谷、鎌野と昭和三年三月以降五回に亘りベンゾリン千九百十五キロをドイツから輸入したか

被告　左樣であります

裁・　輸入前後の顚末を申立てよ

被・　昭和三年九月初旬にベンゾリンが禁制品になるといふことを知り、規則發布を見越し、同年九月廿二、三日頃瑞西のロツシユ會社との間に賣買契約を結びましたが、それから數日後規則が出たので、これはいかぬと思つて契約を取消しました

裁・　被告はベンゾリンはモルヒネ誘導體の鹽類だと知つてゐながらどうして契約を取消したか當時廳令の條文中には誘導體の鹽類なる文句は無かつたではないか

被告　そうしますとロツシユ會社では契約破棄の損害として前取引關係で同社に預けてある八萬九千圓を沒收するといつて來たので再び輸入を決意し關東廳の近森技手に會ひ、規則中「輸送の途中にあるものは免除す」の一項を生して救濟方をお願ひしたが駄目となりました、そのうち間もなく林靜夫といふ知人が兒玉長官初め久保警務局長と近い間柄だから交涉してやると引受けて吳れたので、其後林と二、三回局長に會つて頼つた結果「輸送の途上にある」との方法を講ぜよといふ暗示を得たので、官憲の證明書を得るべく常光新一が（未逮捕）を二年十二月卅一日瑞西に赴き、ロツシユ商會と交涉のうへ日本領事館の奧書される證明書を得ました

この時裁判長に「輸送の途中にあるが如く裝ひ領事館の證明書を取つたのであらう」と急所を突かれて恐れ入る、それより關東廳の眼を晦まし千九百十五キロのベンゾリンを輸入した事實を承認し、次いで被告谷捨吉の審理に移る

裁判長　被告は豫審決定書に不服があるか

被告　有ります、私は輸入に就て共謀してをりません、小松の依頼で出資しただけです

裁・　幾程の出資をしたか

被・　英貨三萬一千ポンドであります、經緯は昭和二年十二月初旬小松が訪れ、關東長官の許可を得てベンゾリン千四百キロを輸入するから出資して吳れと依頼され、正當な手續によるものと信じ前記金額を融通したのです

裁・　その金は全部返濟を受けたか

被・　昭和三年八月三十日に利息三萬圓と其金額の返濟を受けました

と徹頭徹尾犯意を否認し被告鎌野要三平の審理に移る

裁・　被告は輸入に就いて相談に預かつたか

被・　相談は受けません、正當な輸入と信じ、谷の依頼で三十三萬圓出資し、昭和三年十月利息と延滯料を合せ四十三萬圓谷の手を經て返濟を受けました

と谷同樣犯意を否認し川上虎男の審理に入る

裁・　被告は河村、白川と共謀で昭和三年六月以降十五回に亘りドイツのヒンリクセ商會から二千四百キロのベンゾリンを輸入したか

被・　左樣であります

裁・　被告が白川に藥品購入の委任狀を渡し、それによつて白川がドイツに赴き買付けたのには相違ないか

被・　相違ありません、最初白川から話を持ちかけられました、それは昭和二年十二月頃河村が私を訪れ、白川が關東廳へ輸入許可書の下るやう運動するから何か材料ないかと申しますので、以前取引したヒンリクセ商會からの電報を渡しました

裁・　白川はそれを種に關東廳へ運動したのだネ

被・　左樣であります、其後私と白川は關東廳へ兒玉長官、久保警務局長、川合衞生課長などを訪れましたが、私はそれ等の人に會はず白川が別室で會ひ輸入許可書の下附方を頼んだ事です、その際小松同樣の方法でやつたらどうだといはれたと聞きました

裁・　輸送の途中に無いものを有るが如く裝ふてやれと親切に云はれたのか

被・　イエ、そうではありません（傍聽席から大笑起る）兎も角白川より輸入に就いて長官の諒解を得たとのことで前述の委任狀を白川に渡しました

裁・　荷物の大連到着に際してどうした

被・　河村と一緒に大連郵便局から受取り島名芳松方へ運びました

裁・　純利益はどれほどあつたか

被・　二十萬圓位ありました

裁・　利益分配は

被・　私は四萬二千圓の禮を受け、あと十五、六萬圓は白川と河村で分配したと思ひます

裁・　出資は誰か

被・　河村と白川だと思ひます

これにて當日の審理を打切り午後四時半閉廷三十日午前十時から續行の筈

有効か無効か 廳令の正誤

裁判上の論爭となる 廳令原本を取寄せか

廳令の「正誤」問題は法律上有效か無效かの疑義、事件を有罪か無罪かに導く重要點となるので今後裁判上の大論爭となるものと見られてゐるが、要するに該廳令の原本にどう記載されてゐるかによつて法律上非常に議論が分れるところとなつてゐるので結局公判延では辯護士團から該廳令原本の取寄せ方を申請するに至るものと觀られ、法曹界は多大の興味を寄せてゐる、右に就き某辯護士は語る

廳令の原本に訂正した「誘導體の鹽類」の條文が記載してあるか否かによつて法律上議論が分れる、卽ち右の條文が原本にあつたのに拘らず公布の際又は公布の前に落したものとすれば公布後の單に正誤しただけでも法律上効果あると思ふが萬一原本に無かつたものとすれば當然廳令としての法律上の効力はないよつて辯護士團としてはこの點に非常な疑問を持つてゐるので公判延では當然廳令原本の取寄せを申請することになるだらうこの結果公布後に脫落した條文を原本に挿入したとしたなれば關東廳は公文書僞造の責めを負はなければならぬ

微温的奬勵から積極的實行へ

滿鐵が新設する兒童生徒保健 調査委員會打合せ

在滿兒童生徒の保健體育增進の目的を以て生れた滿鐵の兒童生徒保健調査委員會設立のため二十八日學務、衞生、體育關係者及び安藤樂務課長等約十四五名の準備委員が集つて本社會議室で下打合せをしたが、右打合會に於ては主として體育保健の

重點を　いづれに置くかにつき協議し、具體案は來週土曜日再び打合會を開いて決定し本委員會は二月十日前後設立するに決した、二十八日の打合會で決定したことは

在滿兒童が一般に體重に比して身長が大き過ぎ平均が缺けてゐる、殊に下中身の發育不充分である、從つて不健康體殊に呼吸器病に侵されるものが多い、これを矯正し發育を平均ならしむる爲めに特に冬季の運動、日光營養の三點につき委員會に於て研究しその結果を

從來の　如き微温的奬勵でなく斷然積極的に實行せしめ、且つこれ等の諸點に關して敎育當事者の指導精神を鼓吹することゝし、他方虛弱兒童、不健康兒童に對しては健康診斷の結果それ〳〵特殊の施設を行ふ

子供は風の子　きのふ電氣遊園にて

道路修築費御下賜

神奈川縣に

【東京二十九日發電通】長き邊では神奈川縣逗子田浦灣より葉山御用邸に至る道路約一里の修築費として二十八日金三萬圓を神奈川縣に御下賜遊ばされた、失業救濟道路工事についての大御心と拜される

犯罪寫眞カードと犯行手口の用語を統一

廿八日附で關東廳刑事課から各署に通牒を發す

また來ると三人組の馬賊

守備兵の巡回時間を尋ねた上 有金奪つて逃走す

飛機着水の刹那 帆柱に激突大破

船乘一名卽死し搭乘者は無事

【佐世保廿九日發電通】佐世保鎭守府所屬霧島の艦載飛行機を同艦乘組員中山中尉が操縱し二十八日夜夜間訓練飛行を行ひ午後八時頃航空隊前の海面に着水せんとせし際、無燈火の帆船を認めたるより轉舵せんとしたるも間に合はず帆柱に激突し帆柱は中央より折れ飛行機は大破し海中に沈沒、中山中尉及同乘の二水兵は奇蹟的に助かつたが帆船乘組の佐世保市俵松太郎（五三）は飛行機に跳飛ばされて卽死した

西部大連の本紙讀者 優待映畫會

來る卅日から沙河口劇場で 「八荒流騎隊」を上映

本社西部大連通信部では西部大連方面の讀者慰安のため目下本紙に連載中の時代映畫の巨篇「八荒流騎隊」を來る三十日から二月二日まで四日間沙河口劇場において上映し讀者は半額に優待することになつたが卅日卅一日は前編を、一日二日は後編を上映し半額券は各販賣店より本紙にはさみ込み配布する

市有給吏員採用試驗合格者

大連市役所では廿七日有給吏員採用試驗の結果成績順により十名を選拔し廿九日午前十時から更に口頭試問を行つたがその結果左の五名が合格した

山口初次、山下義實、楠綾夫、荒武篤、鱒津徹

愈いよ〳〵採用までは體格檢査を行ふが、恐らく右の者が及第するであらう

協和會館の諸車乘入れ禁止

滿鐵協和會館における種々な催しの際從來館前までの諸車乘り入れを默許してゐたが近來頓にその數を增加し混雜一方ならず、殊に閉會の際などは一層甚だしく、たびたび事故を惹起するので社員倶樂部でもこれが善後策を考究の結果今後一切自動車馬車人力車の乘り入れを禁止することになつた

學術講演會

滿鐵學務課では來る四月四日より社員倶樂部第二集會室に於て第一期連續學術講演會を催すことになり各方面の權威者に一般關心深き諸問題についての講演を依囑したが既に決定した講演者及演題は左の通りである

一、金融と關稅　大連商工會議所　篠崎嘉郎

二、法律上より考察したる三々九度のさかづき　大連地方法院長　森本豐治郎

三、太平洋をめぐる國々　交涉部　伊藤武雄

四、外二名　未定

柔道進級試合

大連道場寒稽古納會並に柔道進級試合は二十九日午後三時から大連道場に於いて行はれたが同七時盛會に終了した

薄氏土地買收背任 横領告訴事件和解

虹と兜虫 (27)

龍膽寺雄作　一木弴畫

玖須子爵(二)

「いゝえ」

荻野さんは伯爵の脱いだ派手なエポ羅紗のオーヴァを、捧げる樣に抱いたまゝ、濡れた木の根の階段に足をとめて——答へるんです

「お嬢さまはさうにもうおみ起き遊ばして、香川さんにフランス語のお稽古をして頂いていらツしやいます」

「ふむ」

伯爵は金の脇飾のまるい握り柄のついた太い籐のステッキに手をもたらして、櫟の森の梢越しに、山の中腹の木靈閣山莊の苔錆びた木肌葺きの破風を見上げ、瞑の底で無頓着にうなづくんです。

「珊瑚のフランス語の稽古も怪しいもんぢやでな」

「あら」

荻野さんはしとやかに——でも侍女らしい若い女主人公の扉をもって

「本當で御座いますのよ」

「いや、本當ぢやらうけれども」

伯爵は明るく笑って——これも階に立止まって木靈閣を見上げてゐる玖須子爵を睨みるんでした。

「ただ……あれのフランス語そのものが餘る怪しいんぢやでな、はは、は！そこへもってきて都合のいゝ時に勝手にフランス語稽古をはじめては、それをわがまゝ遊びの隙にしたり、いや、香川さんもいゝ迷惑ぢやよ」

さう言って、ふと龍子夫人を睨みて

「さうぢやれ、あの議廳の建築は……」

——山の腹の常緑樹に覆はれた小丘には、綠ケ丘氏の設計になる議廳の新建築が、ギリシャ破風の三角や十六本並んだ大理石の圓柱や、雪白色の大理石の大階段などをキラキラと陽にかがやらはして、それが、木靈閣の古風な木肌葺きの破風と森を隔て、對峙して、一種奇妙な對照を見せて居るんでした。

「さう。……」

夫人は美しく波打った髪を殆ど黄金色に陽に輝かして——山を仰いで、

「正面は殆どもう出來上りましたのれ」

「ふむ」

伯爵はうなづいて、また歩きかけて、

「大體の外形はれ。……大階段の前の泉水にまだ手をつけてないのぢやが、ま、素人眼にはそれはわからんかられ。まだ大仕事ぢやよ」

「だばさま！」

玖須子爵は呼びなれた言葉で夫人に

「あなたは、神宮外苑の繪畫館を御覽になったことがおありですか？」

「いゝえ」

龍子夫人はまたちよつと足をとめて

「一度内部を拜見したいと思って居るのですけれど」

子爵は伯爵に

「あれで建築材料がもう少し贅澤でしたられ」

「ふむ、……」

「あれは外廓は花崗石だったでせう」

「さうぢやったかれ」

「内部は割合ひ贅澤に出來ては居るんですけれど。……所詮日本はプロレタリヤの國なんですれ。ヨーロッパにある樣ないはゆるブルジョワ文化と言った樣なものは殆ど見當らないんですかられ。實にその點貧弱です。あなたなどがまア、近代日本のブルジョワ文化の擁護者なんぢやありませんか」

「いや！」

伯爵は口髭の中に啣へた太い葉卷のはしから、ゆたかに紫色の煙を吐いて

「わしはブルヂョワではないよ少くも氣持の中では。……わしは自ら稱する通りの野人ぢや。あ！あそこに立って何やら白いものを振ってるのは珊瑚ではないか？あの塔で。……」